

SCOUTING

2021
No.741
1



特集 日本連盟創立100周年まで1年

第23回全国スカウトフォーラム
年頭所感／新春名刺交換

CONTENTS

02 創立100周年まであと1年…

06 年頭所感(奥島総長)
ミッションとパッションについて

08 年頭所感(福岡日本連盟コミッショナー)
本来のボーイスカウトに戻ろう

10 第23回全国スカウトフォーラム

11 2021年の主な行事

12 2021(令和3)年度国際交流事業計画

13 世界のスカウト人口

14 野外活動のための安心・安全講座
雪崩から身を守る

15 Scouting Never Stops!
全国の富士スカウト

15 信仰奨励

16 世界とつながるプログラム
JOTA-JOTI2020

17 ボーイスカウトPRムービーコンテスト2020
入選作品発表!!

18 セーフ・フロム・ハームの取り組み

18 維持会員

19 スカウティングとSDGs
一緒に考えよう! 持続可能な社会のために

20 ローカルホットライン

22 新春名刺交換

30 全国ボーイスカウト写真コンテスト
作品募集

31 スカウトショップ

ボーイスカウト日本連盟

創立100周年まで

あと1年

ボーイスカウト
—— 少年斥候隊の運動は、少年を軍人に仕立てる
予備教育のように考えるものがあるけれども、
これは甚だしい誤解であって、
実は少年をして名誉と愛国との観念を信条化せしめ、
精神、身体共に強壯なる人間に仕上げようとするものである。
従って其の訓練の如きは、日本武士道の真髄を採って
これを行うものである ——

ロバート・ベーデン - パウエル

1921(大正10)年、皇太子殿下(のちの昭和天皇)が渡欧されイギリス・エジンバラで開催されたスカウトラリーを親閲された際、ボーイスカウト運動の創始者であるベーデン - パウエル卿が謁見し、皇太子殿下に少年斥候隊の要旨を言上しました。

この後、皇太子殿下がエジンバラのスカウトを前に述べられたおことばが日本国内に伝わり、1922(大正11)年に少年団日本連盟が結成されました。



YEARS OF SCOUTING
IN JAPAN

1922 - 2022

日本連盟では、100周年記念事業実行委員会のもと、5つの小委員会を設けて各種事業等の準備を進めています。

今号では、検討および準備中の事業をご紹介します。第18回日本スカウトジャンボリーなど、スカウト中心の事業もいよいよ本格的に始動しますので、2021年を100周年に向けた有意義な年にしていきましょう。

※ 掲載している情報は、2020年12月10日時点の検討に基づく予定内容です。今後、変更になる場合がありますのでご了承ください。

■ 創立100周年記念史

日本連盟では、これまで、『日本ボーイスカウト運動史(50年史)』『運動史Ⅱ(80年史)』を発売してきました。現在、これらに続く、創立81周年以降100周年(いずれも年度区切り)までの運動史を『日本ボーイスカウト運動史Ⅲ』として編纂しています。

また、ボーイスカウト運動の創始から、日本における100年のボーイスカウト運動史を、持ち運びできる読み物『より良き世界の創造を目指して～日本ボーイスカウト運動100年史～(上)・(下)』として発行する予定です。

『日本ボーイスカウト運動史Ⅲ』

- 主な内容 第1章 2003(平成15)年度～2008(平成20)年度
日本連盟運営組織体制の改編と世界スカウトジャンボリー招致を目指して
- 第2章 2009(平成21)年度～2015(平成27)年度
新法人移行と23WSJを目指して
- 第3章 2016(平成28)年度～2022(令和4)年度
創立100周年を目指して
- 発行予定 2023(令和5)年夏季

『より良き世界の創造を目指して～日本ボーイスカウト運動100年史～(上)・(下)』

- 発行予定 [上巻] 2022(令和4)年秋季
[下巻] 2023(令和5)年夏季

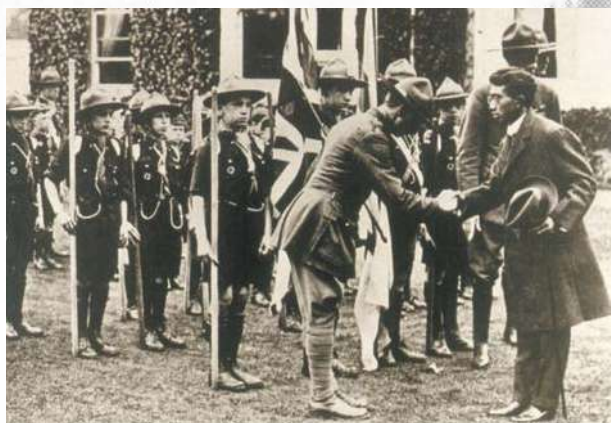
いずれも完全予約販売です。予約等に関する情報は、詳細が決まり次第改めて本誌および日本連盟ホームページ等でご案内します。

■ 記念式典/レセプション

創立100周年を迎える2022年の1月1日～12月31日を100周年記念年期間とし、多くのスカウト経験者がこれまでの自身の経験と教訓を現代の社会に活かし、スカウト運動がより良い世界を創造する(Creating a Better World)ことを目指す教育団体であることを広く示すとともに、これからの発展のための決意を新たにすため、全国でさまざまな記念行事を展開する予定です。そのひとつとして、100周年記念式典およびレセプションの実施を計画しています。



天皇陛下(昭和天皇)をお迎えして挙行了した50周年記念式典(1972.11.5 東京・明治神宮)



皇太子殿下(のちの昭和天皇)がイギリス・エジンバラでボーイスカウトをご親閲(1921.5)

——ここに予が、かねてより聞き及んでいたエジンバラ市少年斥候隊の盛大な会合を見ることを得たのは大なる喜びとするところである。

先に予がロンドンを去らんとする前日、諸子の最も尊敬する少年斥候隊長ベーデン・パウエル中将は親しく予を訪問して、この運動が世界の人々は同胞であるという精神をもっており、然してこの運動の成功は、やがて世界永久の平和を建設するに貢献することが少なくないであろうと告げた。

予はこの如く美しい精神を保持するこの運動が、当然取むべきあらゆる成功を勝ち得ることを切に祈ると共に、最近日本において同じ目的をもって起った少年団運動が、時を追うて今日ここに見るような進歩の域に達し、この運動の目的とする貴い使命を実現するに協力せんことを望むものである(後略)——

皇太子裕仁親王殿下(のちの昭和天皇)

第18回日本スカウトジャンボリー (18NSJ)

日本スカウトジャンボリーは、日本におけるスカウト運動最大の国際的な教育イベントです。4年周期で開催する本大会は、毎回、開催年や開催地の特色を生かしながら、スカウト教育を反映させたテーマを設定しています。

2018年に石川県で開催した第17回日本スカウトジャンボリーから4年。日本連盟創立100周年を迎える2022年に開催する18NSJは、創立100周年記念大会として、日本のスカウト運動と自立したスカウトの姿を広く社会に示すとともに、東京湾臨海部をメイン会場として地域社会とつながるような展開を予定しています。

会期

2022(令和4)年8月4日(木)～10日(水)
6泊7日間

参加者は、8月4日(木)に入場し、8月10日(水)に退場。6泊7日間のキャンプ生活を行います。

テーマ

100+f ~自分のfを探せ~

(ひゃくプラスエフじぶんのエフをさがせ)

今大会は、日本連盟創立100周年記念大会に参加するスカウトたちが、これまでの100年の歴史を振り返るとともに、これからの100年を築き上げる契機となるよう、スカウトが自ら考えるさまざまな「f」(future friend family faith fun fuji など)を探して未来に向かっていくという、スカウトの自主性とそれらを発信していく姿を表すことをテーマにしています。

会場

東京・海の森公園(江東区)、 神奈川・東扇島東公園(川崎市)ほか

東京湾に浮かぶ中央防波堤内側埋立地にある東京都海の森公園と、人工海浜や各種広場からなる川崎市東扇島東公園を会場とし、東京都および隣接する県まで活動範囲を広げて展開します。



東京・海の森公園(江東区)



神奈川・東扇島東公園(川崎市)

日本連盟の歩み

1922(大正11)年	少年団日本連盟設立 日本連盟、国際事務局に登録 少年団日本ジャンボリー開催	1950(昭和25)年	那須野営場開設	第23回世界スカウト会議開催(東京プリンスホテル)	
1923(大正12)年	関東大震災。各種奉仕活動がスカウトが展開	1956(昭和31)年	第1回日本ジャンボリー開催(長野県軽井沢) ※以降、4年を周期に開催	1972(昭和47)年	沖縄のスカウト運動、日本連盟に正式移行
1939(昭和14)年	山中野営場 富士臨雲健児寮落成	1957(昭和32)年	第1回日本ギルウェル実修所開設	日本連盟結成50周年記念事業(明治神宮会館)	
1949(昭和24)年	財団法人ボーイスカウト日本連盟として再発足 全日本ボーイスカウト全国大会開催(皇居前広場、日比谷公園)	1958(昭和33)年	団制度開始	1973(昭和48)年	第1回日本アグーナリー開催(愛知県青少年公園) ※以降、4年を周期に開催
		1964(昭和39)年	東京オリンピックおよびパラリンピック奉仕	1982(昭和57)年	ボーイスカウト運動創立75周年・日本連盟創立60周年記念事業
		1970(昭和45)年	万国博覧会(大阪)奉仕		
		1971(昭和46)年	第13回世界ジャンボリー開催(静岡県朝霧高原)		



少年団日本ジャンボリー(1922年)



関東大震災奉仕(1923年)



戦後初の全日本ボーイスカウト全国大会(1949年)



第1回日本ジャンボリー(1956年)



第1回日本ギルウェル実修所(1957年)



日本連盟創立60周年(1982年)



第1回シニアスカウト大会(1984年)



阪神淡路大震災奉仕(1995年)



日本連盟創立75周年(1997年)



長野冬季オリンピック奉仕(1998年)

参加対象

ボーイスカウトおよびベンチャースカウト

日程

全参加者が、多彩なプログラム活動に参加できるよう、プログラムは複数日を実施する予定です。また、期間中の気候を勘案して、開会式および閉会式、ジャンボリー大集会等の全体行事は、主に夜間の時間帯に実施することを計画しています。

日数	日程	主な行事
	8月1日(月)	先発スタッフ入場・設営
前々日	8月2日(火)	大会運営スタッフ入場・設営
前日	8月3日(水)	準備作業
第1日	8月4日(木)	参加者入場・設営・開会式
第2日	8月5日(金)	プログラム
第3日	8月6日(土)	プログラム
第4日	8月7日(日)	プログラム
第5日	8月8日(月)	プログラム
第6日	8月9日(火)	プログラム・閉会式
第7日	8月10日(水)	撤営・参加者退場
翌日	8月11日(木)	撤営・大会運営スタッフ退場
	8月12日(金)	撤営・後発スタッフ退場

※日程は、今後変更になる場合があります。

18NSJ ロゴマーク大募集!

作品条件

- 本件のために独自にデザインした、未発表で類似のないオリジナル作品に限る。
※他作品と著作権問題等に抵触しないこと。
- 縦8cm×横9cmにおさまり、このサイズで見やすいもの。形状は問わない。
- 応募作品の中に次の文字表記やデザイン要素を入れること。
① 大会名称：「第18回日本スカウトジャンボリー」「18th NIPPON SCOUT JAMBOREE」「18NSJ」など ② 開催年：「2022」など ③ テーマや開催地など大会の特徴を表す文字・デザインなど ④ 日本連盟創立100周年を表す文字・デザインなど
- 色の使用は、デザインを使用した配布物などの作成の関係上、4色以内とし、カラーと白黒の2パターンをデザインする(参加章としてワッペンを制作するため、色のグラデーションや細かいデザイン、複雑な形は適さない)。

応募に関する詳細は、日本連盟ホームページでご案内します。たくさんのご応募をお待ちしています。



参考 (17NSJ)

今号で紹介した事業以外にも、さまざまな検討を行っています。また、Scout Shop ではなく100周年記念商品(本誌 p31 参照)の販売を開始しています。今後の展開も楽しみにお待ちください。

- | | | |
|---|--|---|
| 1984 (昭和59)年 第1回シニアスカウト大会開催
(主会場：宮城県南蔵王、活動基地：東北地方の4県に13か所設置) | 1998 (平成10)年 長野冬季オリンピック・パラリンピック奉仕 | 2016 (平成28)年 熊本地震奉仕 |
| 1986 (昭和61)年 ビーバースカウト部門発足 | 1999 (平成11)年 ベンチャー部門プログラム実施 | 2017 (平成29)年 山中野営場閉場 |
| 1988 (昭和63)年 「おきて」を8か条に改正 | 2007 (平成19)年 世界スカウト運動創始100周年記念事業 | 大和の森 高萩スカウトフィールド グランドオープン |
| 1989 (平成1)年 昭和天皇崩御、大喪の礼にスカウト代表参列 | 2008 (平成20)年 第38回世界スカウト会議にて、2015年の第23回世界スカウトジャンボリーの日本開催が決定 | 2018 (平成30)年 第17回日本スカウトジャンボリー開催(石川県珠洲)
※日本ジャンボリーを日本スカウトジャンボリーに名称変更 |
| 1995 (平成7)年 全部門への女子の加入を認める
阪神淡路大震災奉仕 | 2011 (平成23)年 東日本大震災奉仕 | |
| 1997 (平成9)年 日本連盟創立75周年中央式典開催(東京都日比谷公会堂) | 2012 (平成24)年 日本連盟創立90周年事業 | |
| | 2015 (平成27)年 第23回世界スカウトジャンボリー | |



東京オリンピック奉仕 (1964年)



万国博覧会奉仕 (1970年)



第13回世界ジャンボリー (1971年)



第23回世界スカウト会議 (1971年)



沖縄連盟、日本連盟に移行 (1972年)



東日本大震災奉仕 (2011年)



日本連盟創立90周年 (2012年)



第23回世界スカウトジャンボリー (2015年)



熊本地震奉仕 (2016年)



第17回日本スカウトジャンボリー (2018年)



はじめに

昨2020年度から、ぼくが日本連盟の「総長」に就任することになり、後任の理事長に岡谷篤一氏が就任いたしました。ご存知のとおり、「総長」の職は渡邊昭総長以来15年間空席となっておりますが、どういうわけかぼくが就任することになりました。誠に、不適切人事と考える方も多いたは存じますが、そうなった以上、全身全霊もってこの負託に応える決意でありますので、どうぞよろしくご指導くださいますようお願い申し上げます。

なお、新たに就任された岡谷理事長は愛知連盟の理事長および連盟長を歴任されたばかりか、スカウト歴上いわば「たたきあげ」のつわものであり、これ以上の適任者はないと思われる方です。

ミッション

昨年以來、ボーイスカウト日本連盟は、未曾有の試練に見舞われている。いうまでもなく「新型コロナ」の来襲によるものである。この奇禍ともいうべき悲劇は日本のみならず、世界全体に及び、すべての社会・経済の基本をおびやかすものであり、その結果、スカウト運動そのものにも重大なる被害を及ぼしていることは周知のところといわねばならない。かかる事態の前にわれわれスカウトがどう対応するべきかを考えてみたところで、どうなるものでもないが、はっきりしていることは一点だけである。すなわち国や社会が要請しているコロナ対策のために進んで全員協力していくことにほかならない。

もともとスカウト運動の原点は、「立派な市民（グッド・シチズン）」を育成することである。そのことを、初代総長の後藤新平は自治三訣（「人のお世話にならぬよう」「人のお世話をするよう」「そして酬いを求めぬよう」と）易しい言葉で語っている。つまり、これが立派な「市民」というもののあり方である。簡単に言えば、市民による自治とは、自助、共助、公助によって成り立つものであり、スカウトはその意味で市民として立派なモデルたるべきであるというのである。コロナ問題についても然り。ウィズ・コロナの生活に理想的なモデルとならなければならぬことをも意味するのである。

この考え方は、もともと、イギリスの古い諺にあり、すなわち「ノープレス・オブリージュ」（貴族たる者は義務を負う）にある。「貴族は豊かな生活を楽しんでいる。それゆえ、平時においては誰よりも重い負担を負うべきで、公共のためには多額の寄付などすべてを負担し、戦時においては、最も矢弾のあたる最前線に立たねばならぬ」という考え方である。そして、

年頭所感

ミッションと パッションに ついて

総長

奥島孝康

これこそが、イギリスにおける「公共」というものの考え方の基調であった。だからこそ、民主主義という観念はイギリスにおいて育ったのだといわれる。

こうして、イギリスでは民主主義を支える市民という観念が根づいていき、イギリスで発生した「シチズン」(市民)という観念の具体的な人間像のモデルとしてスカウト運動が発生したのであった。われわれがスカウト運動に取り組むのは、「市民」としての原点を求めるための一方法としてであることを忘れてはならない。



スカウトは、ほかの人を、特に老人や子どもを助けるためにできるだけのことをする。少なくとも毎日1回は善行をする。

ベーデン・パウエル「スカウティング フォア ボイズ」より

パッション

ミッションを支えるものはパッションである。しかし、ミッションを経済的に支えるものはパッションではない。そこに問題は常に伏在する。すでに述べたように、ミッションを支えるものは、イギリスにおいても常に貴族の心意気であった。その意味で、スカウトというミッションを支えるためにはスカウトの無償の心意気というパッションが必要である。つまり、スカウト運動は基本的には無償の献身によって支えられており、そこに基本的問題があるといえはる。しかし、本当の問題はそのことを問題とするかどうかである。とりわけ、スカウト運動にはパッションを求められるからである。したがって、スカウト運動の指導者には、無償の献身というパッションが求められるのである。そががこの運動の痛みであるし、限界である。しかし、この問題は乗り越えられねばならない。少なくとも限界まではパッションを持続しなければならぬ。

理論と運動の違いはよく知られている。理論は真理を追求するが、運動は理想を追求する。追求する理想が大きければ大きいほど、その運動には困難がともなう。もとより、真理の追求にも限界はある。しかし、真理の追求は事実の追求であるが、理想の追求は事実の追

求ではない。限界が想定できるものと、できないものとの相違である。つまり、理想の追求には限界がない上、生きる上で、学問上の追求と政治上の追求のような違いがある。理想と事実のようにパッションの対象が異なる。

スカウト運動の対象は、ある意味でこれだよという限界がない。限界がないばかりか、その運動の後退さえある。したがって、後退を阻止しようとすれば、どちらにも体力気力の限界につきあたる。つまり、パッションの持続力の限界である。それに、現在遭遇しているパッションの持続力の限界である。ではどうするか。いうまでもなく、若い世代に期待するほかない。つまり、世代交代である。たとえば、現在のスカウトの中には、宇宙飛行士の野口聡一氏のような方もいる。いろいろ困難は山積しているが、スカウト運動の本来の希望は決して小さくない、というより、むしろ大きいとさえ思われる。なぜなら、「グッド・シチズン」に対する期待はますます大きくなることはあっても、決して小さくなることはないからである。つまり、「ベター・ワールド」という人間の希望が小さくなるはずはないからである。くどくなるかもしれないが、生きるということは、よりよい社会をめざすことであり、スカウトがその先頭に立つべきだと考えるからである。その意味で、スカウト運動にはパッションが不可欠であり、パッションなき者にスカウトたる資格はない。

結びに代えて

コロナの時代には、スカウト運動にとって致命的時代であるように思えます。しかし、スカウト運動に存在意義があるとするなら、こういう時代だからこそスカウトらしい生き方を模索し、スカウトらしく生きることを考えるべきでしょう。スカウトの誇りにかけて、われわれはこの時代を立派に生き抜くことを誓おうではありませんか。

いま考えるべきことは、アフター・コロナもさることながら、ウィズ・コロナを考え、コロナとの「共生」の中で、スカウトらしい生き方を精一杯するよう、努めるべきでしょう。そのあり方は、ともかくコロナ禍を最小に止めるために、国や社会の求める要請を立派に果たすことにほかなりません。そして、アフター・コロナに備えることでありましょう。

そのためには、スカウトのミッションをしっかり認識し、その目的達成のためのパッションをしっかりと自覚することが大切ではないでしょうか。「ミッション」が「パッション」に支えられて初めてスカウト運動は運動としての生命をもちうるのです。スカウト諸君の奮起を期待します。



注意喚起

新型コロナウイルス 感染への対応

新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナウイルス)は、昨秋以降も急速な広がりを見せ、クラスター(感染集団)も多様化しています。感染拡大防止のために、3つの密(密閉、密集、密接)を避けることに加え、「5つの場面^{*}」での注意が呼びかけられています。

スカウト活動については、地域ごとに各自治体や地域とも連携して活動のあり方や実施可否などの判断をすることとし、各県連盟での方針のもとで対応していただくようお願いしています。

スカウト活動に取り組む際は、特に下記の点を確認し、配慮してください。

活動における配慮事項

- ① 地域の感染拡大状況を注視し、スカウトたちの安全を第一に考えた活動を行う。
- ② 活動内容の変更や延期、中止を視野に入れ、地域社会における感染拡大のリスクを高めないように努める。
- ③ 関係者全員(スカウト、指導者、家族など)が、「新しい生活様式」の徹底に努める。

感染拡大の可能性のある場合

- ① 感染リスクはゼロにならないことを前提として、スカウト活動に関連した活動で感染が拡大した、もしくは拡大の可能性が疑われるような事態があった場合は、関係者は各組織を通じた連絡[団⇒(地区)⇒県連盟⇒日本連盟]を速やかに行う。
- ② その際に、感染者およびその家族等への差別、偏見、誹謗中傷などが生じないように十分にサポートする。

スカウト活動における 新型コロナウイルス感染拡大予防 ガイドライン

「スカウト活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を日本連盟ホームページに掲載しています。

https://www.scout.or.jp/member/covid19_scout_guideline/

※「5つの場面」

- 感染が高まる①飲酒を伴う懇親会等、②大人数や長時間におよぶ飲食、③マスクなしでの会話、④狭い空間での共同生活、⑤居場所の切り替わりといった場面

年頭所感

本来の ボーイスカウトに 戻ろう



日本連盟コミッショナー

福嶋正己

昨年(2020年)は、年の初めから新型コロナウイルスの感染が日本国内でも始まり、あっという間に日本全土に広まりました。5月に神奈川県で開催する予定だった全国大会も中止になりましたが、オンラインという今までにない形で、成功裏に開催することができました。ICTの技術に精通した若い指導者仲間のボランティア精神と開催県連盟の神奈川県連盟のローバースカウトの協力、多くのスカウトの参加によって作りあげられた、大きなプロジェクトでした。ボーイスカウトの若い仲間たちの情熱とチームワークを感じました。感謝しています。

昨年は、コロナ禍において「Scouting Never Stops!」をキーワードに、各隊、各班、

各組のスカウト、さらに隊指導者や団運営者の皆さんが、通常と違った集会のあり方を模索し、実践していただいたことに感謝いたします。困難な状況でもスカウティングの歩みを進められたことは、大変素晴らしいことだと思います。

一方で、今までの直接対面による活動とは違い、お互いにパソコンなどで会話や動作を伝えるため、もどかしさを感じることもあったのではないのでしょうか。日本連盟の諸会議についても、ほとんどの会議をオンラインで行い、会議構成者の各県からの移動を減らし、意思疎通と経費削減を図ってきました。「新しい生活様式」での活動は、今後もしばらくは変わらずに実施されていくと思います。

2020年9月末時点のボーイスカウト隊のスカウト数は14,147人で、隊数は1,714隊、1隊あたりの平均スカウト数は8人でした。ちなみに、ベンチャースカウト隊はスカウト5,892人、隊数は1,477隊、1隊あたりの平均スカウト数は4人です。ボーイ隊とベンチャー隊を合計しても12人のスカウトたちです。

言い換えれば、今や、ボーイ隊は1隊に1班、ベンチャー隊は1チームしか存在しない隊が、全国各団の77%を占めているのが実情です。

2016年に策定した日本連盟創立100周年を目指した長中期計画に、「ボーイスカウト(BS)部門とベンチャースカウト(VS)部門一体化を含むプログラムの見直し」があります。現在、プログラム委員会が、実証隊によるBS部門とVS部門の一体化を研究しています。

太平洋戦争終了後、日本連盟は1949(昭和24)年に再発足し、その後加盟員が年々増加していきました。当時は、12歳から18歳までがボーイスカウト隊(部門)でした。1952(昭和27)年、高校生年代が増えてきたことにより、15歳以上のスカウトを対象にした年長スカウトのプログラム(課程別、組織)が制定され、今から62年前の1958(昭和33)年に、少年隊(ボーイスカウト部門)と年長隊(旧シニアスカウト部門、現ベンチャースカウト部門)が年齢によって分けられるようになりました。

当時は、加盟員が右肩上がりで増えていった時代です。少年隊の人数が徐々に多くなり、30人以上で2こ隊編成を行う団もたくさんあ





りました。年長隊も企業内スカウト隊も多々存在していましたし、年長隊でも平均で20人ほどの隊が多く存在していました。

このような状況でしたので、部門を分けることは当然のことでした。また、この年に今までの隊(単位隊)制度から現在の団制度への改定がありました。第2次ベビーブーム(1971～1974)を含む1965年ごろから1985年にかけて、日本全国の団で各隊溢れんばかりのスカウトが活動していました。

現在の加盟員数はどうでしょうか。加盟員数は前述のとおりで、1983(昭和58)年をピークに右肩下がり状況です。

余談ですが、カブスカウト隊は1隊6組(6人×6組)36人まで、組旗の色も1組は「赤」2組は「白」3組は「黄」4組は「緑」5組は「青」6組は「えび茶」と、1隊の最大登録数が決められています。以前は最大人数を超えて2こ隊編成する団もたくさん見受けられましたが、現在「赤」「白」の組旗は見受けられるものの、残念ながらそれ以降の組旗の色は数少なくなっています。

さて、ボーイ隊とベンチャー隊の話に戻しましょう。かつて、年長隊が編成できない団においては、少年隊の中に年長班を設けることができ、年長班のスカウトは年長スカウトプログラムに取り組みながら、少年隊のジュニアリーダーとして上級班長や隊付を兼務していました。

教育規程では、上級班長および隊付は、隊長が必要に応じて班長会議に諮^{はか}ったうえで任命をすることになっています。上級班長や隊付を任命し、彼らに隊の運営を任せているという隊は、全国にどれだけ存在するのでしょうか？

隊員数が少ないために、野外活動の基本的なこと(手旗信号、結索法、コンパスの使い方等々)を、学校の授業で先生が教えるように、隊長や副長が直接スカウトに教えているということはないでしょうか？ 年間プログラムの

立案、隊集会のプログラムの立案、隊ハイキング、隊キャンプのプログラムも指導者の手で作成されていませんか？

本来のボーイスカウティングに戻りましょう。スカウト技能を教えるのは、上級班長や班長の役目であり、上級班長から各班長へ、そして班長が班のスカウトへ伝えていくものです。そして、隊付は隊の与えられた任務を分担し隊運営のサポートを行います。

前述の実証隊では、ベンチャースカウトがボーイ隊のジュニアリーダー(上級班長、隊付)としてボーイ隊の運営を行う、本来のボーイスカウト隊のあり方についてを検証しています。

隊長の仕事は「おきて」や「日々の善行」の実践をスカウトたちに促し、隊員を激励し、自ら修得させ、その成長を助けていくことです。そして、ジュニアリーダーが、隊集会、隊ハイキング、隊キャンプの計画を班長会議で作成することが、班制教育の1つの要素です。

ただし、実現するには時間が必要です。日本連盟では、ジュニアリーダー(上級班長、隊付等)のトレーニングを試験的に数回実施し、その後、ブロックまたは県連盟で行っていただくように考えています。

本来ならば、班長訓練は隊長が行うべき仕事であって、決して地区や県連盟、日本連盟が実施するものではありません。それは重々承知していますが、現在、全国的に隊での班長訓練が行われていない現状では、どこかで指導者訓練のように見本を示し、ジュニアリーダーおよび隊長の参加によるジュニアリーダートレーニングを実施し、ボーイスカウティングのあるべき運営を隊長が修得できるよう、支援していけるようにと考えています。

最後に、今後、ビーバースカウト部門およびカブスカウト部門の年齢区分の改定についても、検討と実証を含む2年間の実証隊の報告をしたいと考えております。

2020年度 冬季の諸活動に向けて(要約)

冬季に入り、再び新型コロナウイルスが猛威を奮い、各地で感染が拡大しています。県連盟の方針および地域の状況を確認したうえで、「活動における配慮事項」「感染拡大予防対策」「冬季特有の安全対策」および「セーフ・フロム・ハーム登録前研修」を実施し、スカウトが安心安全に冬季諸活動を行えるよう、ご指導ください。

活動における配慮事項

- ① 地域の感染拡大状況を注視し、スカウトたちの安全を第一に考えた活動を行う。
- ② 活動内容の変更や延期、中止を視野に入れ、地域社会における感染拡大のリスクを高めないように努める。
- ③ 関係者全員(スカウト、指導者、家族など)が、「新しい生活様式」の徹底に努める。
- ④ 感染者およびその家族等への差別や偏見、誹謗中傷などが生じないよう、十分にサポートする。

感染拡大予防対策(p7参照)

- ① 「3つの密」を避ける。
- ② 感染リスクが高まる「5つの場面」に注意する。
- ③ マスクの着用や手洗い(手指消毒)、うがい、検温、換気や備品等の消毒などを実施する。

冬季特有の安全対策

スキー、スノーボード、スケートなどのウィンタースポーツ、雪中キャンプや雪中ハイキングなど、冬ならではの活動が展開されますが、気象条件や環境の変化が厳しいことから、通常時の安全対策に加えて冬季に応じた対策を念入りに行い、具体的な指示や指導を徹底して安全確保に努め、万が一事故発生の際は迅速で的確な対応がとれるようにしましょう。

※活動場所や内容に応じて、県連盟や行政管轄部署への各種書類の提出が求められます。必要書類の提出を徹底してください。

セーフ・フロム・ハーム登録前研修の取り組み(p18参照)

指導者およびローバースカウトは、2021年度登録前研修を実施してください。安心で安全なスカウト活動を展開するため、ご理解とご協力をお願いします。

報告 第23回全国スカウトフォーラム

スカウト運動の原点である「スカウトたちの声に耳を傾け、その意見をスカウト運動に反映させていくこと」を实践し、「青少年の意思決定への参画」がより推進されることを願って開催した全国スカウトフォーラム。今回のスカウトフォーラムは、新型コロナウイルスの影響を考慮してオンラインを活用し、企画から運営まで、ローバースカウト年代の運営委員が中心になって実施しました。

- 期間 2020年11月22日(日)～23日(月・祝)2日間
- 参加者 42県連盟代表スカウト43人
- 配信会場 兵庫・国立淡路青少年交流の家
- スタッフ 全国スカウトフォーラム運営委員12人
- 参加方法 オンライン
- テーマ 私たちにできる社会貢献とは
- 協力 事前基調講演：NPO 法人ソーシャルデザインセンター淡路
ワークショップ：国連機関 FAO 公式プログラム運営「YUNGA JAPAN」



今回のスカウトフォーラムの取り組み

- **フォーラムウィーク** 2020年11月14日(土)～20日(金)
事前に顔合わせの場を設け、全国の代表スカウトがグループを編成してフォーラム開催までのグループワークに取り組みました。
- **プレフォーラム** 2020年11月21日(土) 19:00～21:00
翌日から始まるフォーラムを前に、代表スカウトの紹介や県連盟スカウトフォーラムの発表、配信拠点である淡路島の紹介動画を視聴しました。
- **1日目/開会式、ワークショップ、分科会、フォーラムナイト**
兵庫連盟の鈴木理事長による歓迎の言葉で迎えられたスカウトたちは、開会式後のワークショップで世界の社会問題を事例に挙げ、個人課題やグループワークに取り組みました。

夜はフォーラムナイトとして、本フォーラムに集った喜びや楽しさ、初のオンライン開催という環境でしか味わえない経験を参加者全員で共有しました。各グループで準備してきた自己紹介動画の視聴や、本物の火を疑似的に囲んで自分たちのスカウト経験を話し合うオンラインファイアを行いました。



- **2日目/分科会、全体会、閉会式、振り返り**
午前中は、テーマ「私たちにできる社会貢献とは」について、分科会でグループごとに討議しました。各地域における社会問題を整理して、ワークショップで発表されたプログラム案を参考に、どのような社会貢献活動が可能かを話し合いました。
そして、「ちかい」と「おきて」の实践から奉仕活動につながる取り組みについて、ベンチャースカウトとして進むべき方向性をグループでまとめ、各グループの意見を集約して採択事項の原案を作成しました。
午後の全体会では、分科会で話し合ってきた各グループの内容を、議長団(各グループより選出したスカウト)が中心となってまとめ、本フォーラムに参加した代表スカウト全員の意見を反映したフォーラム宣言を採択しました。東儀議長(千葉・我孫子第1団)から日本連盟の榊原プログラム委員長に「フォーラム宣言」を提出し、榊原委員長からは本フォーラムの講評と、フォーラム宣言を今後の日本連盟行事や施策に反映させていくことが伝えられました。

第23回全国スカウトフォーラム フォーラム宣言

ベンチャーウィーク
～持続可能な地域社会のために〇〇をします～
スカウトが中心となり、地域社会と連携して、みんなで各地域の問題を解決しましょう。

※文中のベンチャーウィークには、議長団による採択文案の検討において、「スカウトの日のように毎年恒例のものになるよう、私たちベンチャースカウトが実施するプロジェクトとして取り組んでいこう」という意味が込められています。

全国のベンチャースカウトに呼び掛ける「メッセージ」としてこの宣言が採択されました。また、このフォーラム宣言を受けて、各県連盟の代表スカウトがそれぞれに個人目標を作成しています。すでに県連盟スカウトフォーラムにおいて実行するアクションの素案作成や、アフターフォーラムの計画も進んでいることと思えます。本フォーラムを経て、県連盟での取り組みにつながることを目指しています。



フォーラム運営委員長のことば

遠藤 航 (兵庫・相生第4団 ローバースカウト)

このような社会情勢でさまざまな制約があるなか、42県連盟の代表スカウトが参加。進行のみ国立淡路青少年交流の家から行う形での開催となりました。例年から考えると、オンライン開催は代表スカウトや運営委員を含め、不安な部分も多かったと思います。ですが、分科会と全体会での白熱した議論や交流の様子を見ていると、今できる最高のフォーラムであったと思います。

代表スカウト、23SF 運営委員、関係各所の皆さん、大変お疲れ様でした。本フォーラムを無事に終えることができたのは皆さんの協力あってのことであり、ホッとしています。ご協力ありがとうございました。

最後になりますが、今後の各県連盟でのアクションプランの实践に期待しています。



日本連盟 Web サイト
<https://www.scout.or.jp/member/23sf/>

2021年の 主な行事

2020年12月15日時点

※ 詳細、名称、ロゴ等は今後変更になる場合があります。

2021年度全国大会

5月29日(土)～30日(日)／静岡・MOA美術館、他

社会への本運動の理解を広めるとともに、加盟員の研鑽の場、日本連盟と参加者の双方からの情報交換の場として開催します。

ワクワク自然体験あそび

通年／全国

コロナ禍であっても、子どもたちが自然の中で安心してたくさん遊べる機会を提供することを目的として、2020年に文部科学省委託事業として展開し、多くの子どもたちが参加しました。本年も継続して全国各地で実施する予定です。



富士特別野営2021

8月／調整中

スカウトの日

9月20日(月・祝)／全国



毎年9月の第3月曜日は「スカウトの日」。全国各地域において、地域社会への奉仕をはじめとしたさまざまな活動を一齐に展開し、スカウト運動が地域社会に根ざした実践活動であることを広く社会にアピールします。

全国防災キャラバン2021

調整中／全国

「そなえよつねに」の精神で、防災について考える機会を一般の方々へ提供することを目的として、全国のイオンモール等で「全国防災キャラバン」を実施する予定です。



2021

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

2022

2020年度富士スカウト代表表敬

日本連盟創立60周年記念事業として実施してから継続している本事業は、新型コロナ感染拡大を考慮し、2020年度はオンラインによる実施を予定しています(2020年実施予定だった2019年度事業についても同様)。

国立公園カーボン・オフセット キャンペーン

世界スカウト環境プログラム (日本連盟認定プロジェクト)
4月～12月／全国

全国の国立公園を訪れて、その貴重な自然の中で環境について学び、公園来場者に対して学習したことを伝える環境啓発活動を行います。活動時期などは、実施希望の隊、団、県連盟などからの申し出により、各施設と調整します。



第14回世界スカウトユースフォーラム

世界スカウト機構主催事業
8月16日(月)～20日(金)／エジプト

第42世界スカウト会議

世界スカウト機構主催事業
8月23日(月)～27日(金)／エジプト



RCJ ROUTE高萩

9月17日(金)～20日(月・祝)／高萩スカウトフィールド

ジャンボリー・オン・ジ・エア(JOTA)／ ジャンボリー・オン・ジ・インターネット(JOTI)

世界スカウト機構主催事業 関連ページ p16
10月15日(金)～17日(日)／全世界

世界スカウト機構(WOSM)が主催する公式国際行事です。アマチュア無線やインターネットを活用し、国内外のスカウト仲間と交流することを目的に、毎年10月の第3金曜日から3日間(72時間)で開催されます。



難民支援衣料回収プロジェクト2021

調整中／全国

世界の難民のうち、半数以上が18歳未満の子どもたちです。スカウトと同年代の子どもたちのため、株式会社ユニクロと連携し、難民支援のための衣料回収プロジェクトを実施予定です。衣料の回収にご協力ください。



日本連盟創立100周年

2021(令和3)年度 国際交流事業計画

2020年12月15日現在

公募により実施する海外派遣事業

2021(令和3)年度の派遣事業として日本連盟が募集要項を作成し、公募により派遣員を選考し実施する予定のものは下記のとおりです。新型コロナウイルス等の影響により、実施時期の変更や、事業が中止または延期になる場合があります。

No.	事業名 ※印は海外派遣貸付金対象事業	派遣予定期間(大会期間) 派遣先(主な訪問国) 派遣予定人員	派遣の概要	募集対象				日連推薦 締切予定日	
				BS	VS	RS	L		
BS…ボーイスカウト VS…ベンチャースカウト RS…ローバースカウト L…指導者									
1	2021年度 カンダージュテーク 夏季野営スタッフ派遣 ※	奉仕期間 6月上旬～9月上旬(3か月) スイス/カンダージュテーク国際スカウトセンター 若干名	カンダージュテーク国際スカウトセンターにおいて、夏季野営スタッフとして奉仕する		○	○	(19歳以上 35歳未満)	締切済	自己負担額
2	2021年度 スカウト特別海外 派遣(露会館補助事業)	個人プロジェクトによる 個人プロジェクトによる 最大2人	個人プロジェクトによる		○	○	○	4/5	補償 会館 助
3	2021年度 スカウト・オーストラ リア短期留学(学習旅行)派遣	例: 7/22～8/29(夏休み期間) オーストラリア(メルボルン、シドニー、パース、キャンベラ、ブリスベン等) 1～2人	オーストラリアの高校に短期留学(学習旅行)し、スカウト活動に参加する		○			4/5	自己負担額

例年実施していたアメリカ連盟の国際キャンプスタッフ計画派遣は、事業終了になりました。

グループによる海外派遣

1	2021年度 韓日スカウト フォーラム派遣	韓国連盟と調整中(8月実施見込み) 韓国 スカウト18人、指導者2人 計20人	両国スカウトによるスカウトフォーラムと地元見学またはホームステイ等の文化体験に参加する		○	○		未定	自己負担額 在留費
2	第14回 世界スカウトユース フォーラム派遣 ※	8/14～8/22または8/14～8/29 (ユースフォーラムは8/16～8/20) エジプト/シャルム・エル・シェイク 5人以内	第14回世界スカウトユースフォーラムに参加する(可能な者は8/23～8/27の第42回世界スカウト会議にも参席する)			○	○	1/20	検 討 中 助
3	第10回 APR スカウトユース フォーラム派遣 ※	2022年2/9～2/14または2/9～2/21 (ユースフォーラムは2/10～2/13) 台湾 10人以内	第10回 APR スカウトユースフォーラムに参加する(可能な者は2/15～2/20の第27回 APR スカウト会議にも参席する)			○	○	9/1予定	検 討 中 助

2021年7月に予定されていた第16回世界スカウトムート(アイルランド)は2022年7月に延期されました。

2021年7月に予定されていたアメリカジャンボリーは2022年7月に延期されました。

フィルムント派遣は参加希望県連盟がなかったため、2021年度の実施はありません。

国際協力プログラム

1	2021年度 CJK(ローバー) プロジェクト派遣 ※	2022年2月頃で調整中 カンボジアまたはミャンマーで調整中 スカウト10人、指導者1人 計11人	日本、台湾、韓国の3連盟ローバースカウトが国際協力プロジェクトを行う		○	○		未定	自己負担額
---	--------------------------------	---	------------------------------------	--	---	---	--	----	-------

国際会議および指導者の研修のための海外派遣

1	第10回 アジア太平洋地域サミット	4月に開催予定 未定 オンライン会議で開催の可能性あり 若干名	APR内各国よりチーフコミッショナー、国際コミッショナー、事務局長が代表として参加する			○			関係会議を通じて案内(公募はしません)
2	第42回 世界スカウト会議	8/21～8/29(8/23～8/27) エジプト/シャルム・エル・シェイク 若干名	エジプトで開催される世界スカウト会議に代表6人、オブザーバーを派遣する			○	○		関係会議を通じて案内(公募はしません)
3	アジア太平洋地域 コース・フォー リーダートレーナー	(2022年2/7～2/13) 台湾 若干名	台湾で開催されるAPR・CLTに派遣する				○		関係会議を通じて案内(公募はしません)
4	第27回 アジア太平洋地域 スカウト会議	2022年2/14～2/21(2/15～2/20) 台湾 若干名	台湾で開催されるAPRスカウト会議に代表6人、オブザーバーを派遣する			○	○		関係会議を通じて案内(公募はしません)

日本連盟主催外国スカウト受入事業

No.	名称	期間	内容・招へい国	対象	備考
1	2021年度 CJK ベンチャープロジェクト	3か国連盟で調整中(8月実施見込み)	台湾、日本、韓国のベンチャースカウトを対象としたプロジェクトで、2021年度は日本で開催する	VS	台湾、日本、韓国からベンチャースカウト各9人、指導者各1人、合計30人で実施予定(日本参加者は公募)
2	2021年度 オーストラリア 短期交換留学スカウト受入	11月下旬～ 2022年1月下旬	オーストラリア連盟よりスカウトを受け入れる。日本の高校に短期留学をし、スカウト活動に参加する	VS	オーストラリアからベンチャースカウト1～2人(日本のホスト家庭は県連盟を通じて依頼)
3	2021年度 日韓スカウト交歓計画	2022年1/9～ 17(調整中)	韓国のスカウトと交流プログラムに参加する	BS、VS	韓国、日本から各40人程度(日本参加者は県連盟を通じて公募)

日本で開催する国際会議

No.	名称	期間	内容・招へい国	対象	備考
1	2021年度 CJK 首脳会議 (全国大会への招聘)	5/28～30	静岡県熱海市で開催の全国大会の機会に台湾、日本、韓国の3か国連盟首脳会議を行う	台湾、日本、韓国の3か国連盟の主要役員	台湾、韓国の各国連盟主要役員を招聘し、全国大会の機会にCJK3か国連盟の首脳会議を開催予定
2	2021年度 CJK 事務局長会議 日本開催	11月(調整中)	台湾、日本、韓国の3か国連盟事務局長による会議で、2021年度は日本で開催	台湾、日本、韓国の3か国連盟の事務局長および関係職員	台湾、日本、韓国の3か国連盟事務局長による会議で毎年持ち回りで開催

■ 野外活動のための安心・安全講座

なだれ

雪崩から身を守る



1. はじめに

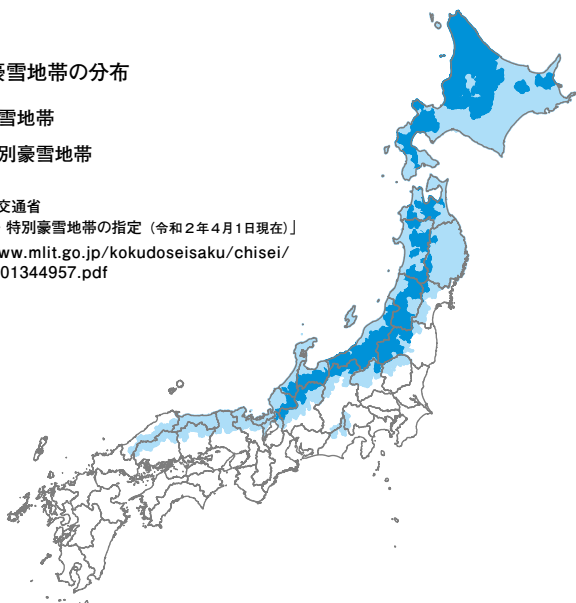
地球温暖化や気候変動の影響もあってか、ここ数年、日本では暖冬と厳冬が繰り返されている状況にあります。加えて、日本は、国土の半分以上が「豪雪地帯^{*1}」に指定され、下の図のように日本海側の地域に集中しています。

この豪雪地帯を中心に発生している雪の事故や災害の中で、広範囲にわたって甚大な被害を及ぼすのが「雪崩」です。毎年、雪崩による災害は1～3月を中心に発生しており、死者や行方不明者を伴う被害も起きています。^{*2}

■ 全国の豪雪地帯の分布

- 豪雪地帯
- 特別豪雪地帯

資料：国土交通省
「豪雪地帯・特別豪雪地帯の指定（令和2年4月1日現在）」
<https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/content/001344957.pdf>



2. 雪崩ってなに？

雪崩とは、厳寒期や春先に発生する「斜面上にある雪や氷の全部、または一部が肉眼で識別できる速さで流れ落ちる現象」のことをいいます。最大で時速200kmものスピードに達することもあり、新幹線並みの速度で斜面を滑り落ちていきます。

雪崩は「すべり面」の違いによって、大きく2つのタイプに分けられます。それが「表層雪崩」と「全層雪崩」です。以下の図は、表層雪崩と全層雪崩を比較したものです。発生時期や原因によって、雪崩のスピードが違うことなどを意識してください。

種別	表層雪崩	全層雪崩
概要	<p>古い積雪面に降り積もった新雪が滑り落ちる</p>	<p>斜面の固くて重たい雪が、地表面の上を流れるように滑り落ちる</p>
主な発生時期	低気温で降雪が続く1～2月の厳寒期	気温が上昇する春先の融雪期
速度	時速100～200km	時速40～80km

資料：国土交通省

3. 雪崩から身を守るためには

このように、表層雪崩であっても全層雪崩であってもスピードが速いため、ひとたび発生してしまうと、発生に気づいてから逃げるのが困難です。そのため、雪崩災害から身を守るためには、前もって雪崩が発生しやすい場所や条件などを知っておくことが重要といわれています。

1 発生しやすい場所

- 急な斜面（傾斜が30度以上^{*3}になると発生しやすく、35度～45度が最も危険。また、落石注意の標識が設置されている場所）
- 低木林やまばらな植生の斜面

2 発生しやすい条件

- 気温が低く、すでにかかりの積雪があるうえに短期間で多量の降雪があったときや急傾斜（特に雪庇、吹きだまりができていない斜面）では、表層雪崩発生危険があります。
- 過去に雪崩が発生した斜面、春先や降雨後のフェーン現象などによる気温上昇時、斜面に亀裂ができていない場合は、全層雪崩発生危険があります。

3 雪崩発生の前兆現象

雪崩は多くの場合、以下のような発生の前兆現象が見られるといわれています。前兆現象をしっかりと捉えて、雪崩事故に巻き込まれないようにしたいものです。

- 雪庇：山の尾根から雪が張り出している状況
- 巻きだれ：雪崩予防柵から雪が張り出している場合
- 斜面が元の地形と異なって平になっている場合
- 斜面をころころとボールのように雪のかたまりが落ちてきた場合
- 斜面にひっかき傷が付いたような雪の裂け目ができている場合
- 雪しわ：ふやけた指先のようなシワ状の雪の模様

このような前兆現象の有無を観察し、「そなえよつねに」を意識して冬のプログラムを展開しましょう。

「セーフ・フロム・ハーム」・安全委員会

※1 豪雪地帯対策特別措置法によって指定され、冬期に大量の積雪がある地域。積雪の度が特に高く、かつ、積雪により長期間自動車の交通途絶等の住民生活に著しい支障を生ずる地域は、「特別豪雪地帯」として指定。

※2 近年では、2017（平成29）年3月27日に栃木県那須郡那須町のスキー場で発生した春山登山会に参加していた高校の生徒、教員ら8名が死亡した事件があります。

※3 スキーの上級コース（30度以上）同程度

Scouting Never Stops!

全国の富士スカウト

本誌2020年11月号(No.740)では、新型コロナウイルス(以下、新型コロナ)の影響を受けながらも「進歩に関する特別措置」を適用して富士スカウト章を取得したスカウトの取り組み事例をご紹介します。

今号では、2019年4月に完全移行したボーイスカウト部門とベンチャースカウト部門の進級課程を改めて確認するとともに、2020年11月末までに「富士スカウト章」を受章したスカウトをご紹介します。

新課程と富士スカウト章

2019年4月より、ボーイスカウト部門とベンチャースカウト部門は進級課程を一本化しました。新たな課程は以下4つの特徴をもち、より一貫性のある進歩を重視した内容になっています。

1 一貫した進歩制度

初級スカウトから富士スカウトまでの一貫した進歩制度であり、初級-2級-1級-菊-隼-富士の6段階の進級章をすべて取得して到達点である富士スカウト章を目指す。

2 必要な技能や知識を明確にした必修課題

各進級課題は、前述の進歩の目標で設定する技能や知識の修得を目指す必修課題に内容を改定し、進歩の継続性を重視する。

特徴のひとつ目にあるとおり、スカウトは一貫した進歩に取り組み、進歩制度の到達点である「富士スカウト章」の取得を目指します。

1955(昭和30)年に富士スカウト章受章者第1号が誕生してから現在までに約6,600人が富士スカウト章を受章してきました(現在のベンチャースカウトになってからは約4,000人)。

「富士スカウト章」受章スカウト ※2020年4月1日~11月30日(日本連盟発給分)

授与番号	県連盟	団	氏名	学年	年齢	性別	備考
1	4003	長野県 飯田第1団	神藤 悠太	高校3年	18歳	男	2019年度認証
2	4004	兵庫 神戸第38団	近藤 竜羽	高校3年	18歳	男	2019年度認証
3	4005	兵庫 神戸第54団	岩壺 拓真	高校3年	18歳	男	2019年度認証
4	4006	兵庫 神戸第58団	箱崎 光毅	高校3年	18歳	男	2019年度認証
5	4007	東京 小金井第2団	高倉 美央	高校2年	17歳	女	
6	4008	静岡県 富士宮第9団	井出 己尋	高校3年	18歳	女	2019年度認証
7	4009	群馬県 太田第5団	一ノ瀬 愛美	高校3年	17歳	女	
8	4010	埼玉県 さいたま第8団	志水 咲弥	高校3年	17歳	女	
9	4011	愛知 名古屋第91団	原 健	高校3年	17歳	男	
10	4012	兵庫 西宮第13団	森下 結友	高校3年	17歳	男	
11	4013	大阪 堺第15団	大西 洋輝	高校3年	17歳	男	
12	4014	埼玉県 川越第9団	村形 舟竜	高校3年	17歳	男	
13	4015	埼玉県 さいたま第208団	佐藤 亜友翔	高校3年	17歳	男	
14	4016	埼玉県 さいたま第208団	難波 悠太	高校3年	17歳	男	
15	4017	埼玉県 さいたま第208団	友田 拓海	高校3年	17歳	男	
16	4018	大阪 堺第25団	松村 智子	高校3年	17歳	女	
17	4019	兵庫 西宮第10団	堀 秀宇	高校3年	18歳	男	
18	4020	埼玉県 さいたま第8団	狩野 新	高校3年	17歳	男	
19	4021	埼玉県 川越第2団	森 陽太	高校3年	18歳	男	
20	4022	東京 杉並第9団	相澤 岳琉	高校3年	17歳	男	
21	4023	東京 杉並第11団	大森 直幸	高校3年	18歳	男	
22	4024	東京 目黒第7団	澁谷 萌々子	高校3年	18歳	女	
23	4025	埼玉県 さいたま第205団	荻島 洸稀	高校3年	17歳	男	
24	4026	東京 大田第17団	前井 孝太	高校3年	17歳	男	
25	4027	東京 大田第17団	末田 絵理奈	高校3年	17歳	女	

新型コロナによる困難な状況は続きますが、スカウトが自発心や積極性をもち、個性を伸ばしながら、集団において自分の責任を自覚して行動できるように、進歩制度を活用してスカウトの活動や成長を支援していきましょう。



信仰奨励

その集会には
神様がきつという

信仰奨励委員会 飯盛 安信

新型コロナウイルスの感染が拡大し始めてから1年。どのように生活すれば感染を防げるのか分かってきたつもりでしたが、冬になって感染者が再び増加してしまいました。

スポーツや旅行、そしてスカウト活動が思うようにできず、絶えず感染防止に気を張っているからか、体のどこかに疲れが溜まっているように感じています。

昨年の夏から「リアル」での集会を徐々に再開し、スカウトやリーダーの笑顔が戻り始めました。マスクをして、3つの密を避け、会場も時間も制限された集会です。そこでは、これまで当たり前のように「集合、集まれー！」などと言っていたことが簡単にできないのです。しかし、ともに顔を合わせて集うということが、いかに嬉しく大切なかを、新型コロナのおかげで、改めて気づかされました。

キリスト教の『聖書』には、「集」という字が515個も出てくるそうです。個人と神様との関わりも大切ですが、人と人とのつながりもまた、いかに大切であるかを表していると思います。

私たちが集まって活動を進めるなかで、互いに支え合い励まし合い「共に生きている」と感じる事が人々にとって大きな力となるのだと教えられます。

「二人または三人が私の名によって集まるところには、私もその中にいる。」

聖書に出てくるイエス様の言葉です。神様のことを思い、感謝の心をもって集えば、神様は私たちと共にいてくださる。そして、私たちを支え、励ましてくださる。このことは、どの宗派の神様、仏様、ご先祖様も同じなのだと思えます。

リアルであれ、リモートであれ、集会のときに「先週、何か神様に感謝したいと思ったことはありましたか?」と、スカウトに問いかけてみてはいかがでしょうか?

そのとき皆が神様のことを思えば、その集会の中で、きっと神様が私たちと一緒にいてくださるのです。

世界とつながるプログラム

JOTA-JOTI 2020



ジャンボリー・オン・ジ・エア 2020 (JOTA2020)

ジャンボリー・オン・ジ・インターネット 2020 (JOTI2020)

日時: 2020年10月16日(金) 0:00 ~ 18日(日) 24:00

場所: 日本および世界各地



JOTA-JOTI は毎年10月の第3金曜日から3日間(72時間)、アマチュア無線やインターネットを活用して国内外のスカウト仲間と交流することを目的に開催される世界スカウト機構(WOSM)主催の公式国際行事です。日本でも25県連盟150グループが事前参加申請をし、21県連盟85グループから参加報告がありました。

無線や有線といった通信技術、SNSや動画共有サイトなどのインターネットスキルのほか、全世界が開催場所であるというスカウティングならではの国際性など、このプログラムにはさまざまな要素が詰まっています。

「こんなことをしました」

- CS隊の集会プログラムに組み込みました。前半は組集会として交流で話す内容の検討や、交流中に話す人とプログラムの分担などを行い、後半は隊集会としてJOTIで実際に交流をしました。
- 国内の隊同士での交流も有意義であると感じ、GoogleMeetなどの会議システムでの取り組みを増やすことで、国内に限ってはSkypeより各隊が手軽に交流できると思います。
- 手始めにゲルマニウムラジオの製作を行い、完成後は実際にラジオを受信することができました。BS隊やVS隊のスカウトにとって、電波に興味を向ける素材としては良かったと思います。
- 知り合いがいる香港の団とZoomを利用した交流会を実施しました。自己紹介やキムスゲーム、ソング、質問、写真撮影など事前に準備したプログラムを行いました。キムスゲームは事前に用意した映像と問題を双方で出し合っていました。易しい問題から非常に難しい問題まであり、オンラインという限られた環境の中でもスカウトたちは盛り上がっていました。



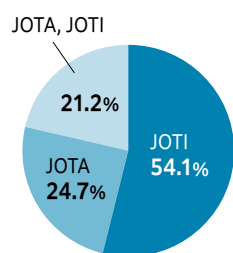
事前準備アレコレ

- 地区において、初日金曜の夜にプレJOTIを行い、初めて参加する団の担当者を集めた練習の場を設けました。どのようにつなげばいいかを実際に実演しながら説明できたのは良かったと思います。
- 事前に知り合いの海外スカウト複数人に対してJOTI交流会の提案をしておき、交流先の確保と内容を話し合っておいたので、当日は心に余裕をもって運用することができました。
- 隊でPCやポケットWi-Fi、スピーカーを用意しました。グループに1台ずつPCを用意したことにより、密を避けながらスカウトが画面に近づける工夫を行いました。
- 国内外のグループ交流では、RSやVS年代向けの話題は準備できていたものの、CS年代向けの話題が不足してしまいました。
- スカウトは全員制服を着用し、スカウトの後ろに国旗を広げてスクリーンのように利用しました。他国の「ちかい」と「おきて」を調べておき、相手のスカウトと一緒に言えるように練習しました。
- いくつかの交流先情報を取得する手順(JOTI、TVやWOSMサイトの活用)を確認しておくことで、一つの方法が使えなくても、慌てずに継続することができました。

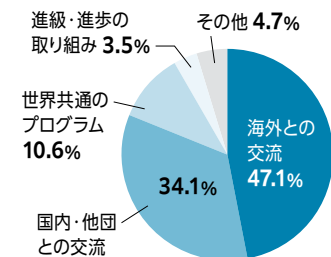


データでみる JOTA-JOTI 2020

参加形態

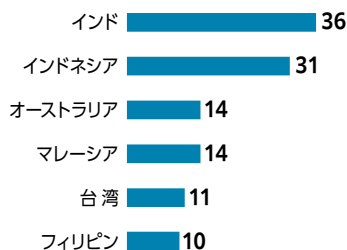


参加目的・理由



昨年と比べて、「国内・他団との交流」が増えました。

アクセス数上位国



交信のしやすさなどから、昨年と比べても上位国の変動はほぼありませんでした。

進級課目や選択課目の確認、年間計画への組み入れなど、次の開催に向けて今から準備できることがあります。隊や団、地区や県連盟において、世界との交流プログラムに挑戦してみましょう。

JOTA-JOTI 公式サイト

<https://www.jotajoti.info/>

日本連盟 Web サイト

<https://www.scout.or.jp/member/jota-joti-2020/>

ボーイスカウトPRムービーコンテスト2020 入選作品発表!!



4回目の開催を迎えた「ボーイスカウトPRムービーコンテスト」。今号では、応募総数65作品の中から、「最優秀」「優秀」「入賞」に選ばれた作品を発表いたします。今回も、俳優としてご活躍され、現役のボーイスカウト指導者でもある金田賢一氏から「最優秀」「優秀」作品の審査コメントと総評をいただきました。



最優秀

タイトル

スカウトソングを歌おう

静岡・三島第5団 団委員
鈴木 信司

静岡県連盟の有志24団体200人以上の参加で、スカウトソング「パトローリング」のリモート合唱を制作しました。コロナ禍による自粛の中で、少しでもスカウトの仲間や社会に元気を与えられるよう、願いを込めてこの作品を作りました。

ここが Good!! 世代を超えた人々が同じ歌を知っていて、一緒に歌える。これはすごいことです。

歌には人々を結びつける力、他の人々を勇気づける力があります。それが映像からよく伝わってきて、清々しい気持ちになりました。良きハーモニーでした。

優秀



Mini pioneering Mikoshi

埼玉・東松山第1団 ローバースカウト
歓喜 亮輔

活動自粛期間に「おうちスカウティング」として取り組んだパイオニアリング・キット製作動画です。

ここが Good!! いつでもトレーニングを怠らない。結びのスキルを丁寧に映像化していました。細かい作業を丁寧に、辛抱強く、かつ楽しそうに行う。その人の人柄が見えました。スカウト活動の目的である良き人間形成の賜物でしょうか。

出来上がった神輿は、とても良くできています。明かりのついた姿が神々しい。今年は方々で祭りが中止になりましたが、その再開への願いも垣間見えました。

入賞



平熱大陸

埼玉・東松山第1団
ローバースカウト
加島 潤

自分たちローバースカウトのことを、加盟員でない方や下の年代のスカウトたちに少しでも知ってもらうために、ドキュメンタリー風の動画を制作しました。

入賞



なるう！ ボーイスカウト！

大阪・豊中第22団
ビーバー隊副長
住友 柁志

普段の活動の様子を撮影しました。ボーイスカウトを知らない人にも伝えられるように、また少しでも興味をもってもらえるように考えた作品です。

入賞



ピタゴラ大作戦

神奈川・藤沢第12団
カブ隊一同

スカウトたちが想いを形にするためにアイデアを出し合い、粘り強く、チームワークでやり遂げました！

入賞



Rovering to Success

兵庫・阪神さくら地区
ユース委員長
富澤 昇太

ボーイスカウト最大の目的である「Creating a Better World」を、スカウト教育最終過程であるローバースカウトを主軸として描きました。

総評

今回も粒揃いの作品が集まりました。テーマに沿って、伝えたいことを短い時間に集約するのは大変な作業だったと思います。どれも甲乙つけがたく、審査に苦労しました。

コロナ禍の影響で十分な活動を行えない中、たくさんの笑顔を見られて嬉しく思

いました。何ができるのだろう、どうすれば良いのだろう。皆が初めて直面する時間が流れています。しかし困難なとき、不自由なときだからこそ、仲間たちとの協力で、良い知恵や工夫が生まれます。これぞスカウトの底力ですね！



金田 賢一



入選作品は、日本連盟ホームページ（および日本連盟のYouTube Channel）からご覧いただけます。

また、昨年新設した企業賞の審査結果は、日本連盟ホームページ上で発表しますので、あわせてご覧ください。

<https://www.scout.or.jp/member/prmc2020/>

セーフ・フロム・ハームの取り組み

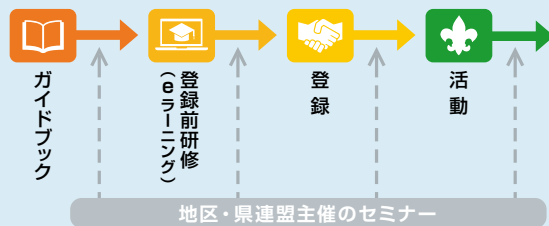


登録前研修 (eラーニング)

現在、加盟登録時に必須の、2021年度登録前研修 (eラーニング) の受講が可能です (パソコンだけでなく携帯電話からも受講できます)。登録前研修は、全指導者およびローバースカウトが受講対象です。

受講後に生成される修了証は、所属団の団委員長へ提出してください。

また、オンラインで受講できない方は、ホームページよりテキスト版データをダウンロードして研修を行い、同意書を団委員長へ提出してください。



スカウト向け教材

スカウト向けにセーフ・フロム・ハームの学習教材を提供しています。

ビーバースカウトおよびカブスカウトを対象とした教材「思いやりの心ってなあに」は、一話完結型の12枚のカードを使用しながら、「ビーバー隊のきまり」や「カブ隊のさだめ」を再確認し、思いやりの大切さを学ぶ内容です。

ウト向けの教材は、漫画「セーフ・フロム・ハームってどんな意味?」と「多面体サイコロで遊ぼう」。特に多面体サイコロは、コミュニケーションをとりながら遊ぶことで、仲間の意見を聞いたり共感したりするなど相手の気持ちを感じ取り、思いやりの心を育むことに繋げるものです。いずれも、日本連盟ホームページからダウンロード可能です。



「思いやりの心ってなあに」



「多面体サイコロで遊ぼう」



日本連盟 セーフ・フロム・ハーム
<https://www.scout.or.jp/member/sfh/>

維持会員 (敬称略)

スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の皆さまです。

ご支援ありがとうございます

2020年 9~10月 度

<p>【北海道】 齊藤 満 前田 和道 長岡 正彦 吉岡 優二 B S 札幌 22 BS札幌地区委員会 BS釧路地区協議会</p> <p>【青森】 高瀬 厚太郎</p> <p>【岩手】 清水 誠勝</p> <p>【宮城】 郷家 照夫 野中 孝三郎 菅野 五郎 B S 仙台 27</p> <p>【秋田】 津谷 正毅 柏木 良二 総社 神社</p> <p>【茨城】 八木 雄二</p> <p>【栃木】 小平 栄蔵</p> <p>【群馬】 中曾根 秀 古川 隆司</p> <p>【埼玉】 星谷 光市郎 浅倉 祥弘 三日月 勝三 井上 久雄 山本 誠一 紫藤 健一 寺田 典昭 一之瀬 真弥 男澤 望 平松 義明 田中 満穂 宇田川 充 諸橋 康二 大口 俊徳 若松 俊司 B S 久喜 1 B S 久喜 13 B S 桶川 1 BSさいたま 1</p>	<p>BSさいたま208 BSさいたま224 BSさいたま226育成会 BS上尾10育成会</p> <p>【千葉】 大門 忠兵衛 菊地 康介 神谷 義文</p> <p>伊藤 知 荻野 茂 小野 泰紀</p> <p>曾根 博 鈴木 亮仁 河辺 尚孝 太田 大州</p> <p>【神奈川】 若野 隆生 小畑 修平 須藤 守之 石川 育雄 河村 雄司 織田 弘幸 窪田 雄一 小澤 寛樹 小山 貴貴 井坂 聡 山田 貴壽 葛西 映子 久保井 基隆 ソーイン・ジャック</p> <p>【東京】 柳 久之 高橋 久雄 岸 伊佐 永沢 利夫 武山 昭英 小島 明善 荒川 善彦 藤本 昇 藤本 浩 大川 昌宏 木島 敬夫 松平 敬昌 山本 陽茂 山本 秀夫 茨田 尚 安藤 潤</p>	<p>金田 一 良 村野 和男 菊池 悠機 櫻井 康博 漆原 文一</p> <p>中田 昇 小菅 勇一 B S 小金井 2 B S 調布 9 B S 練馬 8 B S 練馬 4 BS江戸川3育成会</p> <p>【新潟】 関 憲一郎 大野 嘉彦 (新潟総合学院) セコム上信越(株) (株)第一印刷所 新発田ガス(株) (株)新潟日報社 中央ビルディング(株) (株)本間組 信濃土地(株)</p> <p>【富山】 義浦 実</p> <p>【石川】 畑中 勝三 内田 弘志 岡本 宏</p> <p>【福井】 彰 三 勝倉 俊弘 前川 義憲 笠嶋 幸夫 山崎 武憲 戸田 健一 前田 健一 矢村 賢一 清水 正喜 酒井 善秀 B S 勝山 3</p> <p>【長野】 出田 行徳 高野 隆治 矢崎 靖雄 小口 賢一 (株)イデタ製作所</p> <p>【岐阜】 高田 英明</p>	<p>上田 明 藤和 雄 塩節 次 金子 佳弘 日比野 正治 早川 宏治 山本 孟資 浅井 剛道 松岡 弘道 改田 哲</p> <p>B S 岐阜 19 中部事務機(株)</p> <p>【静岡】 山城 厚生 川村 美生 杉山 栄 高橋 謙一 川村 進 近藤 弘春 鈴木 隆義 小 城 茂子 大山 正見 島山 幸喜 大石 稔 芝田 良雄 前田 左近 渡辺 聡 山本 真一 B S 富士 6 B S 三島地区 BS静岡地区 赤沢クラブ</p> <p>【愛知】 酒井 文一郎 伊藤 康之 平田 新二 森川 利夫 田端 三義 今井 芳夫 榑原 肇 鈴木 市男 山本 真一 小林 陸 串崎 武志 藤牧 実 森井 勝 岩井 謙 椎葉 浩志 佐藤 慶子 高橋 謙治 野村 政司</p>	<p>宮崎 洋 白井 門治 入谷 英和 B S 岡崎 1 BS名古屋 22 BS北名古屋 2 B S 田原 1 B S 大府 2 B S 半田 1 B S 半田 6 B S 半田 7 B S 江南 3 B S 稲沢 4 B S 豊橋 1 B S 豊橋 9 BS名古屋 11 B S 常滑 8 BS豊橋12育成会</p> <p>【三重】 小澤 和代 服部 昌弘 田口 竜太郎 田中 勤 茂田 茂 B S 伊勢 7</p> <p>【滋賀】 伴 忠信 山本 健二 嶋田 寛 嶋田 昌美</p> <p>【京都】 國友 政治 西村 伸次 西村 公郎 西野 賢一 池村 将勝 桑原 仙溪 同志社大学 スカウトOGOB会</p> <p>【兵庫】 平野 進 野上 一恵 森川 一夫 荒川 清治 津崎 仁 岡田 十一 山田 輝子 山口 和典 富永 知典 原田 知典 讃岐 等 宮本 泰彦</p>	<p>吉川 芳 確正 昭 永己 昭 辰辰 剛 大澤 剛 下門 篤 阿部 弘 北方 功 田中 茂 田中 正 田頭 英一 千崎 昭輝 北勝 康秀 藤原 健資 細見 育孝 永井 裕介 大山 章 加藤 正巳 高田 真志 菊妻 隆和 梶木 盛也 遠藤 航 長 延行 B S 西宮 27</p> <p>【奈良】 松下 武雄 森田 良輔 吉田 甚造 西村 泰紀 森川 義憲</p> <p>【和歌山】 石本 省三 堀 正則 中村 光太郎 大岡 正泰 高柳 宏勝 畔柳 宗一 加藤 繁志 高見 徹二 伊東 修功 谷口 功 上阪 玉水 スカウト (BS大阪2) BS枚方9育成会 豊中カトリック スカウト育成会 大阪スカウトクラブ</p> <p>【島根】 小川 喜多男 岩田 春子</p>	<p>岡 真一 【愛媛】 横井 寿子 横井 隆司 横井 八重子</p> <p>【福岡】 藤 玄洋 岡村 憲人 熊本 幸雄 井手 直秀 阿津坂 秀人 井手 明子 磯野 和夫 三河尻 和夫 辻 浩一 中村 裕之 小沢 大蔵 竹下 もりと 大神 和恵 B S 福岡 33 福岡興業(株) (株)西岡総業 (株)光とネットワーク (株)タカオ</p> <p>【佐賀】 峯 好一 脇澤 義裕 (株)上有田整形外科 クリニック</p> <p>【長崎】 白浜 文代</p>	<p>【熊本】 伊波 邦子 【大分】 佐藤 公一 【宮崎】 齋藤 謙 【沖縄】 新成 信武 【日本】 柳 茂久 山口 英一 武井 重利 大藪 智士 辰野 勇 吉田 匠 濱田 由実子 山口 陽 BS北本中央育成会 浄土真宗本願寺派 スカウト指導者会 全国神社スカウト 協議会 キックマン(株) (株)インターナショナル ビルメンテナンス (株)エプソン 三菱UFJ銀行</p>
--	--	---	--	---	---	---	--

マンスリーサポート維持会員

毎月1,000円から、クレジットカードでの自動引き落としによる維持会費のお支払いが可能です。

<https://www.scout.or.jp/support/04/>

9~10月に入会または1年継続された方々です。

<p>【福島】 関口 榮幸</p> <p>【埼玉】 佐藤 哲也</p> <p>【富山】 東海 直樹</p> <p>【静岡】 小林 透</p>	<p>【愛知】 竹山 勉 早川 権 鈴木 勝</p> <p>【滋賀】 佐藤 博則</p> <p>【兵庫】 田中 良幸</p>	<p>【大分】 蛸原 顕彦</p> <p>【日本】 木村 公一 渋谷 茂光 三和 千里 パパロ ロイック 笹 真子</p>
--	--	---

スカウティングとSDGs

— 一緒に考えよう！ 持続可能な社会のために —

持続可能な開発目標（SDGs）は、「leave no one behind（地球上の誰一人として取り残さないこと）」を目指し、先進国と途上国が一丸となって達成すべき17の目標と具体的な取り組みである169のターゲットによって構成されています。

今号では、目標3「すべての人に健康と福祉を」に関する取り組みについて、ローバースカウトが実践した活動事例をご紹介します。スカウトが実践した活動を通じて、SDGsの達成目標について考えてみましょう。

個別の目標から考えよう

目標03

「すべての人に健康と福祉を」



すべての人が、病気の予防と適切な治療、出産支援、薬やワクチンを入手できる社会の実現が求められます。また、空気や水、土壌汚染などによる健康被害を減らすこと、薬物やアルコール等有害物の乱用防止や治療の強化などもこの目標に含まれます。

目標達成のために私たちの誰もが身近にできることとして、寄付や募金、ボランティアなどがあります。また、一人でも多くの人々がこれらの課題解決のために行動することを促すために、さまざまな情報を発信するというのも大切な取り組みのひとつです。普段の生活から自分にできることを心がけて行動していきましょう。

事例1 豪雨被害に対する取り組み

宮城・仙台第2回 尾形凛太郎

2019年10月、西日本を中心に甚大な被害をもたらした台風19号。その翌週から開催予定だった「RCJフォーラム」が中止になるなど、私たちにとっても大きな影響がありました。

私が委員を務めている全国ローバースカウト会議（RCJ）運営委員会では、全国の県連盟代表スカウトへの声掛けも含めて、この台風19号に対する義援金の募金活動を行いました。また、台風が発生した同月に開催したRCJ運営委員会においても、開催施設の許可を得たうえで、会議に参加したローバースカウトで募金活動を行い、日本赤十字社を通じて被災地に義援金をお送りしました。

困難にある時こそ、私たちローバースカウトが率先して行動し、自分たちでできることを行う姿を示していきたいと思います。



北海道・東北ブロック会議後の募金活動

事例2 薬物乱用防止キャンペーン

愛知・名古屋第109回 柴山美光

私が所属する愛知ローバース会議では、ローバースカウトとしての活動のほか、コロナ禍におけるスカウト活動の支援として動画を配信したり、県連盟スカウトフォーラムの運営支援などを行っています。

2019年には愛知県の薬物乱用防止啓発運動にも協力させていただきました。名古屋市内で行われたサッカーの試合において、薬物乱用防止の横断幕を持ち、ハーフタイムの時に、愛知県警の方やガールスカウトと共にグラウンドを周回しました。自分たちが直接、具体的な話を聞いたり、誰かに伝えたりしたわけではありませんが、この薬物乱用防止啓発運動によって、「ダメ。ゼッタイ。」という言葉が一人でも多くの人に届き、薬物乱用がなくなることを願っています。

■ 関連するチャレンジ章に挑戦しよう



救急博士：細目（1）～（3）に関連付けて、何かあったときに自分自身で応急手当てができるように、方法を調べて練習する。



気象学者：豪雨被害をもたらす異常気象について、細目（4）に関連付けて、天気図の整理や天気図と天気の関係性を調べる。

■ 関連する技能章に挑戦しよう



看護章：細目（2）に関連付けて、自分や身の回りの人の健康を保つための方法を調べる。



薬事章：細目（5）に関連付けて、薬物乱用の防止について、自分なりに研究して、人体に対する影響を報告する。

SCOUTS for SDGs

ローカルホットライン Local Hot Line

団・地区・都道府県連盟だより

- ……団
- ☒……地区
- ……都道府県連盟
- ◇……その他

鳥取 ■米子～鳥取100kmハイク

鳥取連盟 広報委員長 福田 京子

鳥取連盟は2019年に創立70周年を迎え、式典などの記念行事を2020年度に実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、やむなく中止しました。

恒例の夏季県大会なども中止としたため、代替事業として3つの密を避けながら米子市から倉吉市を經由して鳥取市まで約100kmをスカウト（BS、VS）がリレーする「米子～鳥取100kmハイク」を実施しました。

2020年10月11日、まだ陽が昇らない午前

5時に米子市をスタート。あいにくの曇天、ときに降雨に見舞われながらも、他隊の応援を受けながら午後7時ごろにゴールの鳥取市に到着しました。

参加した55人のスカウトたちは、疲れの中にも目標を達成した満足感あふれる笑顔を見せていました。

綿密な計画のもとで実施した事業には役員、指導者のほか、大勢の保護者もスタッフとして協力いただき、無事に実施することができました。



引き継ぎ式後、元気よくスタートするスカウトら＝琴浦町逢東

米子～鳥取100キロつなぐ

鳥取連盟 創立70周年ハイク

日本ボイスカウト鳥取連盟は11日、米子から鳥取にかけて約100キロをランニングやウォーキングでつなぐ「創立70周年記念ハイク」を行った。スカウトら

新型コロナウイルスの影響で恒例のキャンプなどが中止となる

参加。米子市の東山公園駅をスタート地点に、鳥取市のコカ・コーラ総合運動公園までの約100キロを13区間に分け、3～6人ずつでつなぎゴールを目指した。途中、琴浦町の逢東農村公園では、西部から中部のスカウト団への引き継ぎ式があり、互いにむすらいと

中、スカウト同士の連携を深めようと、記念行事として開いた。

リレーには小学6年から高校2年のスカウト55人が

激励の言葉を送り合った。9・5キロの最長区間をつないだメンバーの一人、団長（福米中2年）は「最初はきつかったけど、仲間が一緒だったので楽しんで。最後までやり遂げて気持ち良かった」と笑顔で話した。

（田中美千留）

日本海新聞 (2020.10.13)

熊本 □移動図書館「町かど・こども絵本図書館“童心号”」

水俣第1団 団委員長 濱田 智海

水俣第1団は、西生院（浄土宗）が中心となり発団し、2019年に発団70周年を迎えました。

先代住職で前団委員長の故 濱田義晴氏がかつて水俣市初代図書館長を務め、青少年の育成に読書が大切であると話していたことから、私自身が東日本大震災支援活動中に見て感銘を受けた「移動図書館車」を水俣でも実現させることで、前団委員長の想いを受け継ぐとともに、地域の児童や昨今の豪雨災害の被災者との交流を図ることを目的にした“童心号”プロジェクトを発団70周年記念事業として展開しました。

指導者や団委員、保護者、そして西生院関係者から有志が集まり、市立図書館との事前協議や研修を経て、資器材を調達、2020年10月17日に



お披露目会を行いました。コロナ禍の影響で、子どもたちは参加できませんでしたが、出席された方々からはボイスカウトの地域貢献活動に対する期待の言葉をいただき、今後も地域の青少年育成とボランティア活動に取り組んでいくことを改めて誓いました。



東京 ☒日本連盟功労章「きじ章」受章 お祝いの会

城北地区 広報委員長 久保田 郷二

我が城北地区の相談役であり、香川連盟の連盟長でもある松平頼武先生（豊島第4団監事）が、長年のスカウト運動への貢献により、日本連盟有功記章功労章「きじ章」を受章されました。受賞を記念して、2020年11月3日に城北地区役員を中心に「お祝いの会」を開催しました。



㊤2020年 ㊦2009年

静岡 □ スカウトの日

伊東第5団 ボーイ隊長 小松 弘幸

2020年9月14日に「スカウトの日」にちなんで、伊東第5団恒例となった、市内を流れる松川清掃を実施しました。約10年前、2009年11月号にスカウトの日の報告が掲載され、今回、10年前と同じ場所でまたみんなで記念に写真を撮りました。

川の流れは変わりませんが、時間の流れは早いもので、2009年に掲載された写真の中央でお母さんに抱かれている小さな女の子が、今や立派なボーイ隊の班長となりました。



ボーイスカウト長岡第1団のメンバー約40人が10日、長岡市四郎丸3の東部保育園駐車場で、新型コロナウイルス収束の願いを込めた竹灯籠約450個を点灯した。自ら書いたメッセージや疫病退散の妖怪「アマビエ」の塗り絵を灯籠に巻き付け、ウイルス禍に負けない気持ちを表した。

長岡第1団は毎年9月第3月曜日の「スカウトの日」前後に、地域貢献活動としてごみ拾いをしているが、ウイルス禍を受けて企画した。三島地域で竹明かりのイベントを開いている実行委員会から、

疫病に負けないぞ

ボーイスカウト
願い込め竹灯籠点灯

四郎丸



新型コロナウイルス収束を願った竹灯籠10日、長岡市四郎丸3

新潟日報 (2020.10.13)

新潟 □ 願いを込めた竹灯籠

長岡第1団 団委員長 長尾 弘

コロナ禍によって活動自粛が続いているときだからこそ、スカウトたちのコロナに負けない強い気持ちを団全体で共有することを目的に、また、家族や仲間、地域そして医療従事者の方々に感謝を伝えるために願いを込めて約450個の竹灯籠を灯しました。

そのときの様子が新聞に掲載されました。

福島 □ “知っている”より “できる”が楽しい!

矢吹第1団 ボーイ隊長 佐久間 一城

矢吹第1団では、2020年10月25日に地元の大池公園キャンプ場で「ボーイスカウトとあそぼう ワクワク自然体験あそび」を開催しました。

新型コロナウイルス感染症予防のため、アルコール消毒や検温、体調チェックなどを済ませてから、子どもたちが5つの班に分かれて活動を開始。

午前の「炊飯教室」では、班ごとに米の量り方や研ぎ方、飯ごうのコーティングや焚き付けの方法などをリーダーがレクチャー。ほとんどの子どもたちが初体験でしたが、熱心に取り組んでいました。

午後は「凧つくり教室」。ポリ袋と竹ひごを利用したグニャグニャ凧つりに挑戦です。大人の補助もあり、どうにか全員が完成させて凧揚げ大会を実施。適度な風と好天に恵まれて、大はしゃぎでした。

閉会式では、炊飯と凧揚げそれぞれの優秀班と優秀者の表彰をし、手作りのウッドメダルやロープワークブローチなどが贈られました。この体験活動の実施にあたっては、地区内の友好団から多数のリーダーに支援いただき、改めてボーイスカウトの絆の強さを感じました。



新春 弥 栄

<p>謹賀新年</p>  <p>新しいスカウティングをはじめよう</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 顧問 世界救世教 管長</p> <p>長 澤 好 之</p>	<p>謹賀新年</p>  <p>99年の歩みを感謝いたします “スカウト教育の教室は、大自然である” 自然と共生する日々の生活とスカウト活動を！ 新しい年が平安であるようお祈りします COVID-19の一日も早い収束を祈念します</p>  <p>ボーイスカウト日本連盟 顧問 先達 杉 原 正</p>	 <p>HAPPY NEW YEAR 2021.1.1</p> <p>小 町 國 市</p> <p>東京連盟 昭島第一団 日本連盟理事 名誉会議議長</p>
<p>謹賀新年</p>  <p>活動的で自立したスカウトを育てる！</p> <p>ボーイスカウト日本連盟</p> <p>専務理事 佐 野 友 保 常務理事 膳 師 功 常務理事 山 内 直 元</p>	<p>謹賀新年</p>  <p>創立100周年に向けて頑張ろう！</p> <p>ボーイスカウト日本連盟</p> <p>コミッショナー 福 嶋 正 己 副コミッショナー 村 田 禎 章 〃 氏 家 邦 政 〃 山 崎 伊 佐 緒 〃 川 村 悦 子</p>	<p>謹賀新年</p>  <p>Growth with inclusive and no-one left behind! 共に一歩前進</p> <p>ボーイスカウト日本連盟</p> <p>国際コミッショナー 嶋 田 寛 国際副コミッショナー 中 野 ま り 〃 松 平 頼 昌</p>
<p>賀 春 “地域力だ！ボーイスカウト”</p> <p>子供は家庭・学校・地域の正三角形の真ん中で育つ権利があります。</p> <p>コロナ禍にめげずに 運動の真価を浸透させましょう！</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 評議員 千葉県連盟名誉会議議長 市川・浦安地区協議会長</p> <p>森 屋 啓</p>	<p>謹賀新年</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 特別顧問 浄土真宗本願寺派 門主</p> <p>大 谷 光 淳</p>	<p>謹賀新年</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 特別顧問</p> <p>御 手 洗 富 士 夫</p>
<p>謹賀新年</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 理事長</p> <p>岡 谷 篤 一</p>	<p>謹賀新年</p> <p>コロナに打ち勝ち、 スカウティングの価値向上を目指しましょう</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 副理事長</p> <p>水 野 正 人</p>	<p>謹賀新年</p> <p>公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 副理事長 日本ボーイスカウト大阪連盟 連盟長</p> <p>大 坪 文 雄</p>
<p>頌 春</p> <p>日本連盟 評議員 浄土真宗本願寺派スカウト指導者会 理事長 静岡県連盟 副連盟長 静岡県連盟三島地区 地区協議会長</p> <p>土 山 和 雅</p>	<p>謹賀新年</p> <p>指導者は日本国民の模範たれ</p> <p>日本連盟 評議員 広島県連盟 理事長 橋 本 貢 広島第30団 団委員長</p>	<p>謹賀新年</p> <p>日本連盟 評議員 神奈川連盟 相談役 横浜第100団 団委員長</p> <p>中 川 玄 一</p>
<p>奉 賀 新 年</p> <p>荒 尾 雅 也</p> <p>東京連盟目黒第7団 ボーイスカウト日本連盟 相談役 世界スカウト財団 理事</p>	<p>100年前 皇太子殿下(昭和天皇) B-Pとご会見 日本のボーイスカウト運動の扉を開く契機</p> <p>日本連盟 先達・顧問 千葉県連盟 顧問 日本連盟 創立100周年記念史編集委員長</p> <p>鈴 木 國 夫</p>	<p>謹賀新年</p> <p>日本連盟 理事・共済運営特別委員長</p> <p>戸 高 有 基</p>
<p>謹賀新年</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 理事・財務委員長</p> <p>和 田 剛 和</p>	<p>頌 春</p> <p>2024年8月に開催する13NAを引き続きご支援ください。</p>  <p>日本連盟 理事・防災危機管理担当 第13回日本アグーナリー実行委員長</p> <p>増 子 恵 二</p>	<p>スカウトの笑顔のために</p>  <p>日本連盟 理事・高萩スカウトフィールド担当</p> <p>増 田 秀 夫</p>

謹賀新年
日本連盟 理事・進捗管理担当
出田 行徳

賀正 2021年は「改革」総仕上げの年
日本連盟理事 改革担当/DX担当
ボーイスカウト振興国会議員連盟担当
磯山 友幸

謹賀新年
公益財団法人 神奈川県青少年育成指導協会副会長
横浜第3団 (大本山總持寺境内にて活動)
神奈川県連盟先達
武井 重利
E-mail: jl-takei@jcom.zaq.ne.jp

謹賀新年
愛知連盟 連盟長
岡谷 篤一

謹賀新年
愛知連盟 理事長
永井 淳

謹賀新年
日本連盟 理事・プログラム委員長
榊原 孝治

謹賀新年 1987指講福岡玄海 BS研福岡18 BS実141
コミ研関東14 コミ実14 団研愛知35 団実18
ALTC49 LTC30 同期の益々の活躍に期待
沖縄・浦添第3団 **城間 剛**
探究心を持って様々な事にあたる TEL 080-1746-1401

迎春彌榮
さわやかな世界を創りましょう
環境共育グループ ビスタワールド
主宰 **矢島 巖**
E-mail vistaworld21@yahoo.co.jp

仙台第1団に移籍しました
河津 基 かわつもとい もと名古屋1団、
三鷹3団、ソウル505団(外国籍のため未登録)、
九電136団、豊島5団、苗栗県1団、
台北市346団、秋田33団、長崎8団
河津未来 みらい中3 河津平和へいわ高2
河津いづみ ガールスカウト群馬県第4団 JE7YSS@tufs.ac.jp

謹賀新年 横浜第87 団団委員長
神奈川県連盟みなと地区協議会長
国際スカウト・ロータリアン APR 委員長
国際カトリック・スカウト財団セントポールフェロー
鈴木 武道
〒244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町1098
tobysuzuki@gmail.com http://tobys.co.jp

迎春感謝 兵庫連盟
ガンガンどんでんスカウティング!
～伝統を超えて、次の10年へ～
阪神さくら地区(芦屋市、西宮市)協議会

早稲田大学ローバースを支援しています
東京連盟新宿第2団育成会
電話 090-7423-4543
E-mail kanekotks@jcom.home.ne.jp

大阪連盟(せんしゅう地区)貝塚第2団
育成会長 **田端 隆彦**
団委員長 **井上 菊信**
副団委員長 **富田 和博**
ビーバー隊長 **浦川 徳郎**
カブ隊長 **長谷川 孝之**
ボーイ隊長 **井上 英隆**
ベンチャー隊長 **守口 憲二**
ローバー隊長 **宮下 憲二**
役員・団委員・指導者一同
団本部 〒597-0015 大阪府貝塚市堀1丁目9番8号
☎ 072-422-6133 Ⅸ 072-422-6676

祝 地区創立10周年
10th ANNIVERSARY ARAATAMA DISTRICT
2010 2020
日本ボーイスカウト東京連盟 新夕磨地区

謹賀新年
慶應スカウト三田会 東京連盟港第3団
慶應義塾大学ローバースカウトクルー
育成会長 **田邊 建一朗** ローバー隊長 **岩本 修**
副委員長 **萩原 泰夫** ローバー代表 **滝本 実里**
https://keiorover.org

Scouting x Mastery for Service
関西学院に在籍しているスカウト OB・OG各位の登録を募集中!
関西学院スカウトクラブ 関西学院大学ローバース
会長 **上道 小太郎** 会長 **平田 瑛美**
副会長 **上野 智基**
幹事長 **高橋 昌敏**
■お問い合わせは E-mail : kgrovers@gmail.com
Twitter : kwangakurovers
■くわしくは 関西学院スカウトクラブ

同志社に在籍するスカウトの入隊を歓迎します
同志社大学ローバースカウト隊
(京都連盟・京都第43団)
育成会長 **篠田 常生** (OB会会長)
団委員長 **近藤 弘一**
隊長 **草野 裕司**
OB会幹事長 **田中 公郎**
お問い合わせは、E-mail: boggi.papa@dance.ocn.ne.jp
または、携帯: 090-1912-5507 (田中幹事長) まで

謹賀新年
創部大正13年 97周年
東京連盟城北地区豊島8団
立教大学ローバース OB・OG会

近畿大学に在籍するスカウトの入隊を歓迎します
近畿大学ローバースカウト隊
(大阪連盟・東大阪第7団 近畿大学ローバースカウト部)
隊長 **中田 雅之**
お問合せ E-mail: nakamasa13351003@outlook.jp

日本スカウトライオンズ
会長 **伊賀 保夫** (330-A 東京 ビースLC)
副会長 **鬼塚 俊郎** (337-D 国分 準人LC)
〃 **菅 正正** (330-C 川越 初雁LC)
名誉顧問 **菅原 雅雄** (330-A 東京 福留LC)
名誉会員 **逢沢 一郎** (岡山ももたろうLC) 参与会員 **岡村 聖爾** (下野 北山LC)
参与会員 **寺越 慎一** (広島 平和LC) 〃 **宮 昭** (元日本連盟職員)
代表理事 **津守 勝男** 幹事長 **大石 和夫** (東京 豊山LC)
理事 **千原 昭昭** 筆頭幹事長 **松本 英一** (東京 五道LC)
〃 **川田 基弘** 副幹事長 **中山 則** (町田クレインLC)
〃 **黒田 一男** 〃 **村山 正** (東京 聖博LC)
〃 **坪井 喜久太** 〃 **衣笠 博** (東京 聖博LC)
〃 **涌島 勉** 〃 **五十野 和男** (東京 青山LC)
〃 **藤中 義久** 会計 **渋谷 俊徳** (東京 新部心LC)
〃 **田尻 紀夫** 監事 **稲垣 秀明** (東京 白門LC)
330-A 黒田 幹雄 (東京 鹿ノ門LC) 335-B 福田 雅之 (大阪 豊波LC)
お問い合わせ・入会申込先/日本連盟事務局内
tel: 03-6913-6262 fax: 03-6913-6263 e-mail: hello@scout.or.jp

日本スカウトロータリアン
会長 **松平 頼武** (東京北RC)
副会長 **犬飼 康元** (松本RC)
〃 **佐野 友保** (秦野中RC)
〃 **水野 正人** (東京RC)
理事 **鈴木 秀男** (東京八王子北RC)
〃 **太田 幹浩** (西尾一色RC)
〃 **山田 明良** (西宮夙川RC)
〃 **高見 篤志郎** (大阪天王寺RC)
〃 **村上 智真** (柳井RC)
〃 **戸高 有基** (津久見RC)
監事 **増田 嘉一郎** (横浜旭RC)
問合せ・入会申込先/日本連盟事務局内
tel: 03-6913-6262 fax: 03-6913-6263 e-mail: hello@scout.or.jp

新春彌榮
2021年 高尾山仏舎利奉戴90周年
式典挙行 4月4日
日本オールドスカウトクラブ
名誉会員 **三島 昌子** (百歳となりました。元気です)
〃 **石田 智圓** (唐招提寺 第八十七世前長老)
相談役 **村山 平** 至武夫利満一俊三博直二
会長 **松大 石井 頼和**
副会長 **大武 藤重**
世話人 **加望 月** 洋孝耕
〃 **河木 合村** 井昭
〃 **木村 井**
〃 **鴨志 田**
〃 **杉金**

日本ボーイスカウト岩手連盟
 連盟長 南部 利文
 副連盟長 末永 正志
 副理事長 奥田 耕一
 県連盟コミッショナー 小林 俊将
 理事長 山崎 義勝
 副理事長 及川 晋二
 事務局長 向井田 敏宏

日本ボーイスカウト宮城県連盟
 連盟長 村井 嘉浩
 副連盟長 芳賀 文藏
 〃 東海林 良雲
 理事長 菅野 五郎
 副理事長 村上 佳司
 〃 高山 雅光
 副理事長 小山 猛邦
 県連盟コミッショナー 中橋 邦

ボーイスカウト山形県連盟
 連盟長 吉村 美栄子
 副連盟長 佐藤 孝弘
 理事長 松田 隆仁
 副理事長 大沼 大蔵
 〃 齋藤 勉
 県連盟コミッショナー 大江 裕樹
 事務局長 野村 正博

秋田
 連盟長 佐竹 敬久
 副連盟長 安田 孝司
 〃 安田 浩幸
 〃 乳井 豊彦
 県連盟コミッショナー 事務局長 吉田 司
 事務局職員 長里 万里子
 理事長 田村 広美
 副理事長 鶴田 有司
 〃 鈴木 眞一
 〃 三浦 一仁
 県連盟コミッショナー 事務局長 佐川 芳子
 〃 吉田 稔

明日へ!
北海道・東北ブロック協議会
 北海道連盟 秋田県連盟
 青森県連盟 山形県連盟
 岩手連盟 福島連盟
 宮城県連盟
 会長 田村 広美
 副会長 根岸 野崎
 〃 菅山 本小
 監事 ブロック連盟 幹事 幹事
 美樹 郎勝 勉将
 村 岸野 崎多 林 俊
 広 英五 義 俊

日本ボーイスカウト茨城県連盟
 名誉連盟長 大井 川和彦
 名誉顧問 大關 正正
 連盟長 關竹 本野
 副連盟長 佐藤 英樹
 先達 八木 敏俊
 理事長 河宮 俊輝
 副理事長 高宮 清正
 〃 中若 貞子
 〃 若林 清正
 県連盟コミッショナー 事務局長 八木 清正
 (一財) ボーイスカウト茨城県連盟維持財団
 理事長 小池 大次郎
 副理事長 林田 正勉
 常務理事 三浦 勉

公益財団法人 日本ボーイスカウト栃木県連盟
 連盟長 福田 富一
 副連盟長 荒川 政利
 長 老 齋藤 幸男
 相談役 宇賀神 伴吉
 評議員長 源田 俊昭
 理事長 白澤 嘉宏
 副理事長 相馬 啓二
 〃 池上 正美
 県連盟コミッショナー 事務局長 中村 利久
 事務局長 櫻井 政義

日本ボーイスカウト神奈川連盟
 連盟長 黒岩 祐治
 副連盟長 佐藤 保司
 理事長 藤濱 弘明
 副理事長 柳坂 健隆
 〃 境裕 裕子
 〃 清追 水由
 県連盟コミッショナー 事務局長 水柳 進隆
 (一財) ボーイスカウト神奈川連盟維持財団
 理事長 清根 夫紀
 副理事長 青根 一男
 〃 吉新 貴
 常務理事 水柳 進隆
 事務局長 石井 貴

日本ボーイスカウト埼玉県連盟
 連盟長 大野 元裕
 副連盟長 清水 勇人
 理事長 牛山 佳久
 副理事長 紫藤 健一
 〃 西山 繁夫
 〃 細山 京逸
 〃 中牟田 和彦
 〃 角尾 雅也
 県連盟コミッショナー 事務局長 相川 宗一
ボーイスカウト埼玉県育成会
 会長 相川 宗一
 常任顧問 川本 武彦
 会長代行 井原 孝二
 〃 上澤 望

日本ボーイスカウト群馬県連盟
 連盟長 山本 一太
 副連盟長 河内 正美
 理事長 大河 由明
 副理事長 高松 富雄
 〃 藤井 俊文
 県連盟コミッショナー 事務局長 小倉 健豊
公益財団法人群馬県ボーイスカウト振興財団
 理事長 奈良橋 俊宏

夢! 冒険! 笑顔! いっぱいボーイスカウト
日本ボーイスカウト山梨連盟
 連盟長 長崎 幸太郎
 副連盟長 渡辺 一文
 理事長 河野 潤忍
 副理事長 中村 中村
 事務局長 石橋 隆秀

日本ボーイスカウト石川県連盟
 連盟長 谷本 正憲
 理事長 野田 弘
 県連盟コミッショナー 事務局長 稲葉 豊

日本ボーイスカウト長野県連盟
 連盟長 阿部 守一
 副連盟長 福村 富士
 理事長 出田 富行
 副理事長 塚田 光浩
 〃 花岡 清育
 県連盟コミッショナー 事務局長 武藤 孝宏
 〃 藤川 善
 事務局長 矢口 恒善

日本ボーイスカウト新潟連盟
 連盟長 花角 英世
 理事長代行 五十嵐 睦雄
 県連盟コミッショナー 事務局長 平田 則行
 〃 清水 修

迎春 弥 栄
日本ボーイスカウト千葉県連盟
 連盟長 萩原 博
 副連盟長 高橋 昭二
 理事長 木村 政夫
 副理事長 伊藤 知
 〃 片平 紀行
 〃 柳間 隆之
 〃 鎗田 浩二
 〃 小川 信一
 〃 高橋 雅彦
 〃 増田 秀夫
 〃 太田 工
 〃 三塚 学
 〃 関口 陽市
 〃 野中 浩章
 〃 小鷹 順一
 〃 太田 大州
 〃 鶴澤 弘明
 〃 山本 勲
 〃 坂口 昇次
 〃 児玉 春美
 青年代表 岩井 田慧美
 〃 中山 堯登
 〃 片寄 朗
 〃 曾根 博
 事務局長 小林 恒行
 次事務局長 小川 恒行
 公益財団法人 千葉県連盟維持財団
 ボーイスカウト千葉県連盟維持財団
 理事長 橋本 清
 常任理事 菊地 康介
 事務局長 南 正晃



新 春 弥 栄

あけましておめでとうございます

一般社団法人日本ボーイスカウト東京連盟

連盟長 奥島孝康	副連盟長 津守勝男	小町國市	福嶋正己	理事長 山内直元	副理事長 森谷治男	白川雅之	井沢啓一	県連盟コミッショナー 村山大介	常務理事 浅野麻利子	神田幸博	嶋山孝宏	笹渕真子	学識経験者理事 時田和明	原和彦	櫻井康博	地区代表理事 真山明夫	杉野健一郎
地区代表理事 入江生夫	松本秀夫	横溝宏明	荻原和幸	佐藤武信	唐澤弘至	中田昇	高橋聖	柳久之	肥沼裕史	増田嘉一郎	熊坂博幸	才郷正次	事務局長 久保田康弘	公益財団法人 日本ボーイスカウト 東京連盟維持財団	理事長 伊東孝紳	常務理事 青木昭明	

日本ボーイスカウト福井連盟
連盟長 杉本達治
理事長 前川俊弘
一般財団法人ボーイスカウト福井連盟維持財団
代表理事 山崎幸雄

一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟

連盟長 川塩勝平	副連盟長 土渡周立	村山和雅	花金博	脇田茂	副理事長 脇田茂	理事長 土田雅	副理事長 松田博	業務執行理事 志賀裕人	業務執行理事 宮崎賞人	宮崎賞人	鈴木均	川島一郎	川島一郎	松田茂	脇坂英子	学識経験者理事 松下喜彦	戸田正明	地区代表理事 森田文明	藤田和夫	田中寛	藤曲敏春	
地区代表理事 鈴木孝治	鈴木孝治	杉山邦宏	島山幸喜	北村誠	川村進	鈴木隆春	村松清一	小松優	洪谷光	稲野吉弘	兼子孝宏	仲田始	勝平	周立	太							

日本ボーイスカウト岐阜県連盟
連盟長 古田肇
副連盟長 板津敏彦
理事長 木村和幸
副理事長 安田勝
副理事長 高田英明
副理事長 三浦英夫
県連盟コミッショナー 日比野守
事務局長 木村芳郎
一般財団法人 日本ボーイスカウト岐阜県連盟育成会
理事長 高田英明 常務理事 辻慶一

一般社団法人 日本ボーイスカウト愛知連盟

名譽連盟長 大村秀章	名譽副連盟長 大河村たかし	連盟長 岡谷篤一	副連盟長 船橋木市夫	理事長 永井井上	副理事長 氏原邦孝	柳原	長谷川
------------	---------------	----------	------------	----------	-----------	----	-----

日本ボーイスカウト奈良県連盟

名譽連盟長 荒井正吾	先達 綿谷村正泰	連盟長 辻村西達	副連盟長 中吉田甚造	理事長 吉田田章	副理事長 村脇誠一	副理事長 宮本安嘉	県連盟コミッショナー 事務局長 松本安嘉	公益財団法人奈良県ボーイスカウト振興会 理事長 菊池攻	副理事長 花山院弘	事務局長 豊田敏雄
------------	----------	----------	------------	----------	-----------	-----------	----------------------	--------------------------------	-----------	-----------

日本ボーイスカウト三重連盟
連盟長 鈴木英敬
副連盟長 木平芳之
副連盟長 森山本
理事長 山梅川
副理事長 山岸部
県連盟コミッショナー 事務局長 柴服久

謹賀新年 日本ボーイスカウト兵庫連盟

連盟長 井戸敏三	副連盟長 山田知輝	中山明良	鈴木佳一	黒田茂武	副理事長 森地夫	副理事長 高田真志	理事長 延行遠藤航	能登祐郎	青木教至	北方茂	牛飼満和	赤松由久	池澤栄次郎	片山紀彦	讚岐等	谷垣憲滋郎	野上一恵	小玉一夫	笠原章雄	藤田智之	清水秀彦
副連盟長 山田知輝	副連盟長 山田知輝	副連盟長 山田知輝	副連盟長 山田知輝	副連盟長 山田知輝	副連盟長 山田知輝	副連盟長 山田知輝	副連盟長 山田知輝	副連盟長 山田知輝	副連盟長 山田知輝	副連盟長 山田知輝	副連盟長 山田知輝	副連盟長 山田知輝	副連盟長 山田知輝	副連盟長 山田知輝	副連盟長 山田知輝	副連盟長 山田知輝	副連盟長 山田知輝	副連盟長 山田知輝	副連盟長 山田知輝	副連盟長 山田知輝	副連盟長 山田知輝

令和7年・2025年
福岡県連盟 創立100周年を迎えます！

- 連盟長(福岡県知事) 小川 洋
- 副連盟長 長尾 時男
- 理事長 森 永信一路
- 副理事長(地区代表理事) 井手 直秀
- 県連盟コミッショナー 結城 利章
- 県連盟副コミッショナー 郡島 三暁
- 県連盟副コミッショナー 坂口 亮二
- 県連盟ディレクター 小山 俊
- 事務局長 堤 寛

日本ボーイスカウト福岡県連盟
Since 1925

日本ボーイスカウト宮崎連盟

- 連盟長 河野 俊嗣 副理事長 山口 洋一
- 理事長 池本 要 〃 林 幸孝
- 〃 〃 〃 山本 卓也
- 県連盟コミッショナー 村永 盛哉 事務局長 河野 一平

/ 感 / 動 / 空 / 間 / 創 / 造 /

Total Space Production

謹賀新年

感動空間創造技術でスカウト活動をお手伝いしています

制作施工 企画設計 TSP Event Solutions 装飾演出 運営管理 集客分析

第23回 世界スカウトジャンボリー (ワールド・スカウト・センター)

TSP TSP太陽株式会社 www.tsp-taiyo.co.jp

[東京本社] 03-3719-3721 [大阪支店] 06-6306-3150

[営業所] 札幌・仙台・福島・栃木・さいたま・千葉・横浜・浜松・名古屋・石川・三重・奈良・和歌山・岡山・広島・福岡・佐賀・鹿児島

RioTinto

謹賀新年

Safety First

RioTinto

リオティントジャパン株式会社は
ボーイスカウト日本連盟の活動を応援しています。

株式会社ゴーゴーカレーグループ
ターバンカレー ホットハウス

代表取締役社長 宮森 宏和

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル3階

謹賀新年 Yakult

株式会社ヤクルト本社

常務執行役員 椰 良昌利

〒105-8660 東京都港区海岸1-10-30
tel: 03-6625-8938 fax: 03-6747-8020

VICTORINOX

ビクトリノックス 銀座店限定

「ボーイスカウト機関誌を見た」とお伝えいただくと
名入れ彫刻を無料サービス致します。
※対象モデル・フィールドマスター

03-5537-5832 通販可
info.ginza.jp@victorinox.com

謹賀新年 おいしさと健康 Glico

江崎グリコ株式会社は
ボーイスカウト運動を応援しています

ボーイスカウト日本連盟 医療チーム 幹事会

水谷 恵 至 (愛知)
平岩 邦彦 (福井)
松田 敏恭 (香川)
嶋田 和理 (京都)
西嶋 由貴 (京都)
三原 千和 (茨城)
一之瀬 千和 (兵庫)
中嶋 真彦 (東京)
村山 真志 (埼玉)
渡山 栄志 (岐阜)
村邊 章子 (埼玉)
上 文 (神奈川)
は 真 (愛知)
る (東京)

アイコム株式会社は、ボーイスカウト日本連盟の活動を応援しています。

共立印刷株式会社

代表取締役社長 篠原 憲一

国際航空写真株式会社

代表取締役 早川 太郎

新春弥栄 PVC パシフィックヴィジョン株式会社

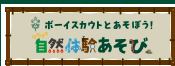
代表取締役社長 笹沢 明宏

TRY CO.,LTD 株式会社トライ

代表取締役 立川 勝得

新春弥栄 円石コンサルタント(株)

代表取締役会長 池田 和子
代表取締役社長 川久保 政茂
(福岡スカウト倶楽部)
〒160-0022 東京都新宿区新宿2-2-1



私たちは、本運動の普及と加盟員の増加を目指して連携していきます

団支援・組織拡充委員会

- 委員長 木村 寿宏 (理事)
- 副委員長 白川 雅之 (東京)
- 〃 佐藤 之雄 (奈良)
- 委員 中本 祐太 (群馬)
- 〃 高見 雄宏 (福井)
- 〃 藤川 和晴 (兵庫)
- 〃 中圓尾 正 (愛媛)

社会連携・広報委員会

- 委員長 澤本 朋宏 (理事)
- 副委員長 山安部 慎太郎 (東京)
- 委員 川瀬 政秀 (神奈川)
- 〃 〃 〃 〃 (大阪)
- 〃 〃 〃 〃 (京都)
- 〃 〃 〃 〃 (兵庫)
- 〃 〃 〃 〃 (学識経験)

中途退団抑止特別委員会

- 委員長 膳師 功 (常務理事)
- 副委員長 佐藤 一茂 (千葉)
- 〃 〃 〃 〃 (愛知)
- 委員 時田 和生 (東京)
- 〃 〃 〃 〃 (大阪)
- 〃 〃 〃 〃 (兵庫)
- 〃 〃 〃 〃 (京都)

第48回 全国ボーイスカウト 写真コンテスト作品募集



全国ボーイスカウト写真コンテストは、48 回目の開催になります。

2020 年は新型コロナウイルスの影響を大きく受けたスカウト活動ですが、困難な状況下で工夫して行った活動や、活動できる喜びを感じるスカウトの笑顔など、今年度ならではの様子も含め、魅力あふれる活動の写真をぜひ応募ください。

あなたの撮影した1枚が、ボーイスカウトの魅力伝えるPR 素材として、さまざまな場面で使用されるかもしれません。たくさんのご応募、お待ちしております。

テーマ：
ボーイスカウト
サブテーマ：
「笑顔」「野外活動」「友情」
※少年の部はテーマ自由

- 部門「少年の部」撮影者が中学生以下
「青年成人の部」撮影者が高校生以上
- サイズ サービス判以上四つ切り以下
- 審査委員長 田沼 武能氏（写真家）
- 主催 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
- 締切 2021年2月28日(日)当日消印有効
- 発表 本誌2021年5月号に掲載予定(入賞者には直接通知します)
- 応募方法 写真の裏に応募用紙を貼って郵送してください。応募用紙は日本連盟のホームページから取得可能です。
※用紙に記載すべき項目がすべて記載されていれば、別の用紙(手書き)でも構いません。
- 応募上の注意
▶ 応募は本人が撮影した作品に限ります。必ず、撮影者本人の年齢に応じた部門へご応募ください。
※他者(保護者や指導者など)が撮影したと思われる作品が、スカウト名義で「少年の部」に応募されていることが見受けられます。審査対象とみなせない場合もありますので、コンテストの意義をご理解いただき、

- 正しくご応募ください。
- ▶ 応募用紙への記載や発送も、できる限り撮影者本人が行ってください(発送については、隊で指導者がとりまとめても構いません)。コメント漏れなどが見受けられることもあります。応募の際は、記載内容に不備がないか確認してお送りください。
- ▶ 入賞者には、写真データの提供を別途依頼しますので、応募用紙には連絡のつくメールアドレスを正しく(読みやすく)記載してください。なお、スカウト本人がメールアドレスを持たない場合などは、保護者等の連絡先を記載するなど、柔軟にご対応ください。
- ▶ 応募作品は、2020年1月以降に撮影した未発表のものが対象です。肖像権を有する人物および建築物などが写っている場合は、応募に際し、権利者(未成年の場合はその保護者)の了承を得てください。
- ▶ 応募作品は返却しません。
- ▶ 応募作品は、入賞発表のほか日本連盟の印刷物等に使用することがあります。
- ▶ 応募作品の著作権は主催者に帰属します。



応募に関する詳細情報は日本連盟ホームページをご確認ください。

<https://www.scout.or.jp/member/48thphotocontest/>



2021
No.742
3

SCOUTING

次号予告 次号の『スカウティング』は、2021年3月1日発行

新型コロナウイルスにより、外あそびの機会が減っているいまだからこそ、自然の中で元気に体を動かすことが重要視されています。2020年度に実施している「文部科学省委託事業 ワクワク自然体験あそび」の実践から、私たちボーイスカウトが地域にもたらす貢献や、コロナ禍でもできるスカウト募集の方法を改めて考えていきましょう。

なんでも投稿先

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟事務局『スカウティング』投稿係
〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3
電話 03-6913-6262 (代表) FAX 03-6913-6263 Eメール scouting@scout.or.jp

投稿規定／本誌では読者の皆さまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念品をお送りしています。投稿は、文字数400字で写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名、掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があり、また掲載できない場合もあります。あらかじめご了承ください。たくさんのご投稿をお待ちしております。

日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp>

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
『スカウティング』2021年1月号 No.741 令和3年1月1日発行(奇数月1日発行)
発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3 <https://www.scout.or.jp>
スカウティングは、全国のボーイスカウト指導者(隊指導者、団委員、スカウトクラブ構成員、地区・県連盟・日本連盟役員)に1冊お送りしています。加盟登録住所にお送りしますので、住所の誤り、変更がある場合は団での登録住所変更の手続きをお願いします。登録システムに伴い、①4月～8月に新規、追加登録申請が承認された場合:5月号から当該月号を同封にて送付(例:8月承認の場合は9月号に5月号、7月号を同封) ②9月～翌年3月に登録申請が承認された場合:11月号から当該月号を同封にて送付。9月以降の「追加登録」で、5月号～9月号をご希望の場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部にご相談ください。バックナンバーの在庫がある場合はお送りいたします。発行月の前月10日以降は、送付作業工程に含めないため、当該月号は次号に同封されます。なお本誌の購読料は、登録料に含まれています。上記以外の方も別途購読いただくことが可能です。詳しくはボーイスカウト日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp> から、スカウティング誌のページをご覧ください。
©公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 2021 写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部(代表 TEL: 03-6913-6262)までご連絡ください。

SCOUTING

デジタル配信しています!



機関誌『スカウティング』のデジタル版(PDF)を、読者の皆さんを対象に配信しています。

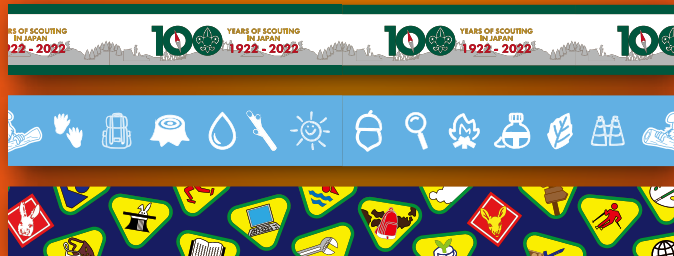
デジタル版は、文字もそのままコピーできますので、さまざまな資料により簡単に引用できるほか、タブレット端末などに入れ、いつでも読むことができます。

ぜひご活用ください。

通常はIDとPASSを入力していただいておりますが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う活動への臨時措置としてパスワードを解除します。ぜひスカウトや保護者の皆さまにもご案内ください。自宅におけるスカウト活動などにもお役立ただければ幸いです。



URL: <https://www.scout.or.jp/scoutingmagazine/issue/>
ID: scouting-magazine
PASS: sonaeyotuneni



NEW 100th Anniversary Collection



73017 100周年バックル ブロンズ ¥3,950-

73023 100周年ボールペン Lightwrite ¥550-

迎春 弥栄

福袋 2021

毎年ご好評いただいております「福袋」を今年も販売いたします。
今年も1種類で、例年同様オリジナルトートバッグに入れて
お届けします。数量限定。売り切れ御免。

品番：90000 福袋 11,000円



野口宇宙飛行士ワッペンについて

野口宇宙飛行士応援ワッペンの Online Store での予定頒布分は、
ご好評いただき、終了となりました。それに伴い下記の期間で予
約による受注生産を行います。

予約期間：2021年1月21日 11:59 まで

予約専用サイト：<https://scoutshopjapan.stores.jp/>

発送予定：2021年2月下旬



©NASA

ONLINE SCOUT SHOP & SCOUT SHOP TOKYO
WINTER SALE 開催中!



SCOUT SHOP JAPAN
Official Shop of the Scout Association of Japan



共に“生きる力”を育みましょう



キッズニアで体験できる仕事やサービスは、約100種類！
本格的な設備や道具を使って、こども達は大人のように
いろいろな仕事やサービスを体験することができます。

一人の大人として活動する



キッズニアの中では、働く人もサービスを受ける人も全てこども達。パビリオンへの入場はこども達なので引率者と離れ、一人前の大人になりきって活動します。キッズニアのスタッフが共に働く仲間としてサポートします。

こどもサイズのリアルな街



現実社会の約2/3サイズの街並みに病院・警察署・銀行・デパートなどが建ち並び、その中でこども達は実在する企業が監修したユニフォームや道具を使って、本格的な体験をすることができます。

多種多様なアクティビティができる



体験できる仕事やサービス(アクティビティ)は約100種類！こども達は多数のアクティビティからやりたい仕事を選択し、活動します。ひとつのアクティビティ体験の所要時間は平均30分です。

キッズニア独自の経済



キッズニアでは専用通貨「キッズ」が流通しています。仕事をしたら給料(キッズ)がもらえます。キッズで買い物を楽しんだりサービスを受けたりすることに使えます。またキッズニア内にある銀行で預金したり、ATMで引き出したりリアルな経済活動も体験できます。

キッズニア東京

〒135-8614 東京都江東区豊洲2丁目4-9
アーバンドック ららぽーと豊洲1 ノースポート3階

キッズニア甲子園

〒663-8178 兵庫県西宮市甲子園八番町1-100
ららぽーと甲子園3020

KidZania
Japan

キッズニア東京は“ボーイスカウト東京連盟江東第6団”を支援しています。

協賛：一般財団法人 プロメテウス財団